OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	お気楽・マック : Macintoshを使って大型計算機センターを利用するために
Author(s)	坂賀, 力
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1996, 101, p. 44-82
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66169
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

お気楽・マック

Macintosh を使って大型計算機センターを利用するために

Macintosh 編　漢字 Tark7.5 用

平成 8 年 8 月 29 日

1．0．0

－－－－ 目 次 －－－－

1. はじめに
1.1 大型計算機センターを利用するために
1.2 インターネットサービス (PPP,POP,NNTP)
1.3 インターネットを活用するためのアプリケーション

2. ハードウェア編
2.1 イーサネット接続
2.2 PPP 接続

－－－－ ソフトウェア編 （準備）－－－－

3. TCP/IP 通信のための準備
3.1 MacTCP
3.1.1 MacTCP のインストール
3.1.2 イーサー接続
3.1.2.1 MacTCP の設定
3.1.3 PPP 接続
3.1.3.1 PPP のインストール
3.1.3.2 MacTCP の設定
3.1.3.3 ConfigPPP の設定
3.1.3.4 さあ、接続してみましょう
3.1.3.5 PPP 接続時に便利な コントロールパネル（特に小さな画面を利用している方）
3.1.4 イーサー接続と PPP 接続（複数のTCP/IP環境を切り替えて利用）
3.1.4.1 MacTCP Exchanger
3.1.4.2 MacTCP Switcher

3.2 OpenTransport
3.2.1 OpenTransport のインストール
3.2.2 イーサー接続
3.2.2.1 TCP/IP の設定
3.2.3 PPP 接続
3.1.3.1 PPP のインストール
3.2.3.2 TCP/IP の設定
3.2.3.3 ConfigPPP の設定
3.2.3.4 さあ、接続してみましょう
3.2.3.5 PPP 接続時に便利な コントロールパネル（特に小さな画面を利用している方）
3.2.4 イーサー接続と PPP 接続（複数のTCP/IP環境を切り替えて利用）

－－－－ ソフトウェア編 （利用）－－－－

4. ACOS の利用
4.1 通信（ telnet ）
4.1.1 areTerm の設定と利用
4.1.2 NCSA Telnet-J の設定と利用
4.2 ファイル転送
4.2.1 Fetch ファイルの転送
4.2.2 Jedit こんな便利なエディタは他にはない ！！

5 SX/unix の利用
5.1 通信（ telnet ）
5.1.1 NCSA Telnet-J の設定
5.1.2 areTerm の設定
5.1.3 話はそれてシリアル接続に (areTerm,NinjaTerm,kermit)
5.2 ファイル転送
5.2.1 Fetch ファイルの転送
5.2.2 Jedit こんな便利なエディタは他にはない
5.2.3 漢字コード変換アプリケーション

6. unix を知らなくてもできるインターネットの活用
6.1 電子メール
6.1.1 Eudora のセットアップ手順

6.1.2　Eudora の設定
6.1.3　Eudora の利用
6.1.4　パスワードの変更
6.1.5　メールでは半角カナコードを送信できません
6.1.6　強制終了を回避するために
6.1.7　DNS 関係のエラーが出たときの対処
6.1.8　RMAIL ファイルを Eudora の書簡箱に （障害回避）
6.1.8.1　イーサもしくは PPP で接続ができている場合
6.1.8.2　シリアル接続（ PPP に接続できない）の場合

6.2　電子ニュースの利用
6.2.1　NewsWatcher-j　の設定と利用

6.3　WWW の利用
6.3.1　Netscape　の License について
6.3.2　Netscape　のメモリについて
6.3.3　Netscape　のインストール
6.3.4　Netscape　の設定
6.3.5　Netscape　の操作
6.3.6　Netscape　の操作のこつ
6.3.7　なぜだか接続できない

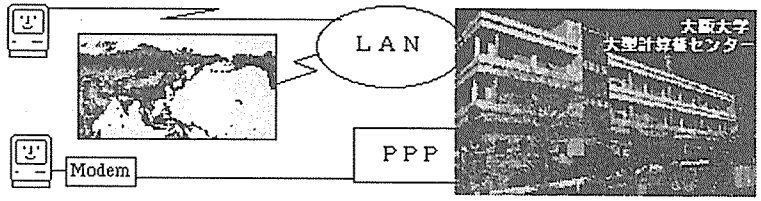
7.　紹介アプリケーションの入手先
7.1　製品を購入する
7.2　フリーソフトウェアなどの入手方法
7.2.1　フリーソフトウェアなどを利用する上での注意
7.2.2　フリーソフトウェアなどの入手先　（anonymouse ＦＴＰ）

8.　おわりに
9.　参考文献

－－－－－－－－　変更記録　－－－－－－－－

0.0.1　初版
0.1.1　3.5　OpenTransport　の設定を追加
0.1.2　3.1.3.2　MacTCP の設定　ドメイン・ネーム・サーバ情報：のドメインを修正
0.1.3　体裁修正
1.0.0　3.2.4　OpenTransport　の設定 の保存　etc.

1. はじめに



この手引きはMacintoshでインターネット（Internet）を経由して大阪大学大型計算機センター（以下、大計）を利用する方法を中心にまとめています。だだ、電子メールやWWW（World Wide Web）では容易に外の世界に出られますし、telnetやFTP（File Transfer Protocol）でも接続先よりlogin情報が入手できれば利用可能です。これ以外にもFTPの情報を収集するanarchieや、テレビ会議（電話）に相当するCU-SeeMe等のサービスなどがあります。

特にこれらのサービスの中で重宝するのが電子メールでしょう。電話のように相手の都合に割り込みませんし、手紙のように時間と手間がかかりません。また、時差で生活時間が異なる海外でも相手の都合を気にしなくてすみますし、FAXのように高額の負担がありません。今まで時差がマイナスの要因になっていましたが、電子メールを利用することにより昼間に送っておけば、こちらが寝ている間に相手がそれを読み返事を書いてくれます。特に海外との共同研究などでは、一方が寝ている間はもう一方は起きている訳ですから、「一晩寝ると、自分は何もしなくても研究が進んでいる」という「靴屋の小人」状態さえ生じて、時差がプラスに転じることがあります。自分が恩恵を受けるばかりではなく相手にも提供するのが前提ですが。

telnet（リモートログイン）は今さら説明するまでもありませんが、遠くの計算機があたかも自分の近くにあるように利用できます。

FTPはネットワーク上の他のコンピュータとファイル転送する方法です。
インターネット上にはコンピュータ資源を有効に活用するために、公開されたFTP（anonymous FTP）サーバーが点在しています。それらには簡単にアクセスでき、便利なプログラムやユーティリティなどの色々な情報が採取できるようになっています。

news,WWW,anonymous FTPは確かに有意義な情報があるにはありますが、ノイズ（不要な情報）がかなり多いです。利用するには自分の必要な情報を入手（この入手方法が難しいですが）して必要な分だけ利用しましょう。

また、WWWはHTML（Hyper Text Markup Language）という簡単な言語で利用できます。インターネットから反れますが、ローカルでHTMLを作成しておきPowerBookで持ち運び、現地でプレゼンテーションということが容易にできます。

この資料で紹介したアプリケーションはほとんどFTPから入手できます。入手元は“7. 紹介アプリケーションの入手先” を参照してください。

この資料についての不都合点または感想などを、下記のメールアドレスまで送っていただきますと幸いです。

大阪大学大型計算機センター システム管理掛
郵便567 大阪府茨木市美穂ヶ丘5番1号
坂賀 力
E-mail:w60157a@center.osaka-u.ac.jp
http:www.osaka-u.ac.jp/center
Tel :06-879-8813 Fax:06-879-8814

1.1 大型計算機センターを利用するために

telnet等で大型計算機センターの計算機を利用する場合は、まず利用申請を行ってください。申請の詳細は共同利用掛にお尋ねください。

〒573 大阪府茨木市美穂が丘5番1号
大阪大学大型計算機センター共同利用掛
電話:06-879-8808
FAX:06-879-8814
e-mail: kyoudou@center.osaka-u.ac.jp

1.2 インターネットサービス (PPP,POP,NNTP)

大型計算機センターではPPPによるダイアルアップIP接続サービス、POPサービス、NNTPサービスを「インターネットサービス」として提供しています。

POP、NNTPサービスを使うことによってUNIXを知らなくても電子メール（—Eudora）、電子ニュース（ —NewsWacher）がマックで利用できます。またPPPサービスを利用することによって自宅のマックなどからでも電話回線を使用して、これらのPOP,NNTPサービスの他にWWW（ Netscape）,FTP（ fetch）,Telnet（ NCSA Telnet）などの各種のインターネットアプリケーションが利用できます。

インターネットサービスは（POP、NNTP、PPPサービスをセット）1000円／月です。月の途中から申請されてもその月の負担は1,000円となります。

PPPでの受け口は28.8Kbpsモデムのみです。ISDNの受け口は用意しておりません。また、ISDNのサービスは未定です。

利用申請以外に別途、本センターの共同利用掛に置いてあります「インターネットサービス利用申請書」に必要事項を記入して提出してください。

1.3 インターネットを活用するためのアプリケーション

Telnet

インターネット経由で遠隔地のコンピュータを利用するためのソフトです。

NCSA Telnet（フリーソフトウェア）

よく利用されているのがNCSA Telnetだと思います。また、ftpのサーバ機能を有しており簡単にMacがftpサーバになります。

areTerm（シェアウエア1,000円）

ACOSを利用する場合はareTermが便利です。日本語入力もできますし、リターンもreturnキーでOKです。ACOSを利用するには都合の良いソフトです。また、シリアル（モデム経由等）接続でファイル転送（Kermit）も行えます。

FTP（ファイル転送） －fetch－

他のコンピュータとのファイル転送やanonymouseFTPの利用を、マックのグラフィカルな操作で簡単に送ったり、受けたりできるソフトがfetchです。マックでファイル転送する場合、たいていこのFetchを使われると思います。

電子メール －Eudora-J－（フリーソフトウェア）

簡単にE-mailの世界に入れる優れたソフト。UNIXコマンドを使うことなく電子メールのやり取りができ、マックの使い勝手のよさが随所にあり、完成度がたいへん高いフリーソフトウェアの一つだと思います。

機能は、メールだけですが１台のマックで複数の人が利用でき、メール到着のお知らせ、配達証明書、サイン、ファイルを添付して送れる機能など他に細かな配慮がなされ、初心者の方にも充分使いこなせると思います。大計ではこれを利用するためのPOP（Post Offics Protcol）サーバーを立ち上げてています

ニュースリーダー －NewsWacher-J－（フリーソフトウェア）

インターネットに流れているニュースを利用できるソフト。阪大学内では、日本国内はもとより海外のニュースも専用のニュースサーバーを設置し、学内に配信しています。また学内のコミュニティの役目として電子掲示板が活用されるように学内だけのニュースカテゴリーを設けています。どんどん活用し、参加しましょう。機能は、ニュースを見たり、質問を送ったりできます。また、Eudora同様１台のマックで複数の人が利用できます。大計ではこれを利用するためのニュースサーバーを立ち上げています。

WWWブラウザ －Netscape－

商品ですが大学内でなら評価版として使用可能

マルチメディア情報検索ソフト。マウス操作のみでテキストデータだけではなく音声、画像（静止画、動画）などの情報を見たり、聞いたり出来ます。色々なフォーマットのデータを統一された操作性でワークステーション（WS）、PC（ウィンドウマシン）で利用できるサービスがインターネットの世界で広がっています。もちろん大阪大学もＷＷＷサービスを行ってます。機能は、情報検索以外にメールを出したりFTP,Gopher,news,mailも利用できます。

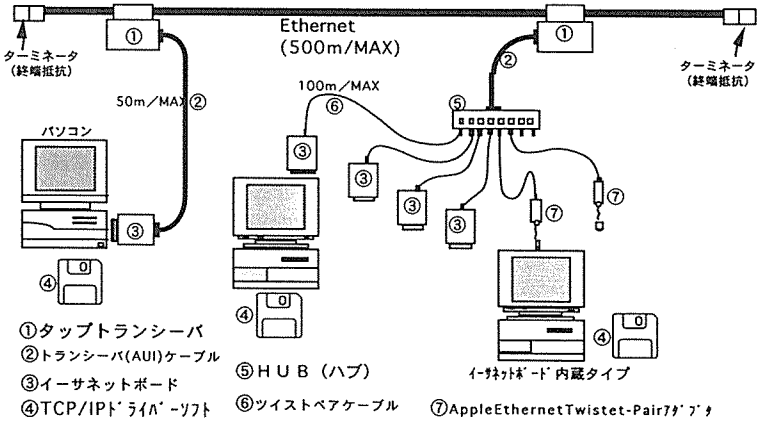
先にも書きましたがプレゼンテーション用ソフトとしても利用できます。

2.　ハードウェア編　（注：価格については'95/10現在で記載しています）

インターネットで行われるサービスの利用を考えますと、接続するマックのハードウェア条件は、できれば68040以上のcpu、OSは、漢字トーク7.1または7.5.1以降、13インチ以上のカラーディスプレイ、メモリー8MB以上、HD100MB以上などが満たされていれば充分です。欲をいえば15インチ以上のカラーモニター、メモリー16MB以上、HD200MB以上ならなお良いです。しかし、既存のマックでも限定した用途ならどんな機種（マックに限らず）でもインターネットに接続は可能です。電子メール、ニュース、Telnetでの利用ならモノクロモニターでもかまいませんし、多少??処理スピードが遅くても良いなら68000のcpuでも良いです。ただ、せっかくインターネットの高速道路みたいな幹線、支線が整備されているネットワーク網を使うのですから、処理スピードの速いマシンを選ばれた方がよりベターでしょう。古いOS漢字トーク6.0.7でも十分使えるソフトはありますが、やめた方がいいですね。できれば、最新機種で安定したマックでの利用をお勧めします。ここでいくつか紹介していますが動作環境は個々に異なり、新製品も続々と発売されているので、購入時は販売店によく相談してください。

2.1　イーサネット接続

必要なハードウェア



イーサネット接続の中にも３種類（イーサネットケーブル=10BASE5,Thinケーブル=10BASE2,ツイストペアケーブル=10BASE-T）ほどありますが、最近、主流になっている10BASE-Tをお勧めします。

⑤　HUBまでが来ている部局のユーザーなら簡単に接続できます。
⑥　ツイストペアケーブル(10BASE-T)、
③　イーサネットボード(I/F10BASE-T)、
④　TCP/IPソフトがあれば接続できます。学内LANのイーサネットケーブル（同軸ケーブル）しか来ていなければ、HUBを買ってきてツイストペアケーブル（10BASE-T）で接続しましょう。

⑤　HUBの価格は、だいたい２万円ぐらいです。一般的に８ポートのものが、お買い得です。HUBを接続するには、イーサネットケーブルに①トランシーバを取り付けて（たいていの場合、専用工具が必要ですが、最近では専用工具なしで取り付けできるものが出てきています）、そこから②トランシーバケーブル（AUIケーブルとも言われています）をHUBに接続します。あとは先ほどと同じ機器をそろえれば接続できます。トランシーバの価格は、だいたい１万５千円前後です。トランシーバケーブルは、10ｍで１万円ぐらいです。さがせばもっと安いものもありますが粗悪品もありますので注意が必要です。ツイストペア（10BASE-T）ケーブルは、１０ｍでだいたい2,500円前後です。

③　イーサネットボード
機種によってNuBus、ダイレクトスロットなど接続されるマックによって拡張スロットの数、形状が違いますので生協などの販売店に確認してください。だいたい１万５千～３万円ぐらいです。
注：Performaには内蔵モデムが搭載されている機種があり、イーサネットボードを搭載する場合はこのモデムと差し換えなければならない場合があります。購入する場合は利用目的と価格を購入店とよく相談してください。

⑦　イーサネットボード内蔵タイプのマック（Power MacintoshおよびPower Book 500シリーズ他）。
このマックなら接続するネットワーク・インタフェイスにあわせて以下の３種類のアダプタのうち、いずれかが必要です。AUI（10BASE5）、Thin（10BASE2）、ツイストペア（10BASE-T）で最近では、サードパーティ製も出回ってきています。価格は、アップル純製品で各々１万５千円です。
サードパーティ製品で生協価格6,400円（10BASE-T,10BASE2）と言うのも出てきています（95/10現在）。

・イーサネット（10BASE-T）ポート内蔵マック（Power Macintosh x500シリーズ）
この図にはありませんが、このマックであればHUBとの間をツイストペアケーブル（10BASE-T）で接続するだけで利用できます。Open Transportに不具合があるみたいですね。http://www.support.apple.com/pub/NEWFILES.html などから最新のバージョンを採取して利用してください。

・PC カード（Power Book 5300シリーズ、190シリーズ）（Power Book 500シリーズにはPCMCIA拡張モジュールを搭載することで、他のマックにはPCカードドライブ（定価４～８万円）を接続することで利用可能）
イーサネット用のカードを用意することで利用できます。最近はモデムとイーサネットの複合カードもあるみたいですね。ただ、速度的にはPower Book 500シリーズの内蔵Ethernetポートより２～３倍ほど遅いそうです（どこが原因なんでしょうね）。また、モデムも同時に利用できるPowerPort PC CARD Platinum PROというPCカードもあります。

・拡張スロットがないマック
Power Book 100シリーズ、Classicなど拡張スロットがないタイプもイーサネット接続できます。SCSI(Small Computer System Interface)ポートにイーサネット機器を接続できるものがあります。ただし、通常のイーサネットボードよりずいぶん割高です。SCSIポートは、ほとんどのマックが標準で装備していますから汎用性があることになりますが、価格はだいたい4万～5万円です。

イーサネットに接続するマックの機種については、販売店などに相談した方が良いでしょう。また、Apple Talkで、すでにネットワークされている場合には、すべてをイーサネット接続しなくてもApple Talkとの共存もできます。しかし、イーサネット接続機器は、近年ものすごい勢いで低価格化してきています。通信のスピード差は、投資するだけの価値はあると思います。

パソコンなどを学内LANに接続する前に各部局の技術担当者からＩＰアドレス、電子メールアドレスを割り当ててもらってください。
特にIPアドレスは取得しないと利用できません（PPP接続は除く）。

2.2　ＰＰＰ（Point to Point Protocol）接続

自宅などイーサネットの環境がない場所で、イーサネットに接続しているのと同等の環境（モデムを利用しますのでそれなりに遅いですが）で利用できます。また、Eudora（電子メール）やNews Watcher（ニュースリーダ）には通信時間を節約する方法も用意されています。
PPP接続ではモデムが必要になります。現在では14,400bpsと28,800bpsがあり価格も落ち着いてきています。購入には高速のモデムがお薦めです。2,400bpsのモデムでも

メール程度には利用できますが、ニュースやWWWの利用は高速モデムへの買い換えをお進めします。

PC カード（Power Book 5300シリーズ、190シリーズ）（Power Book 500シリーズにはPCMCIA拡張モジュールを搭載することで利用可能）
PC カードが利用できるPowerBookではカードモデムが便利です。
また、海外でも利用されたい方はTDK Modem DF2814MACという16ヵ国で利用できるカードモデムもあります。

Geoport Telecom Adapterで動作が不安定な場合はマック本体のアースが取れているか確認してください。また、96年秋には28.8KbpsがPowerMacで実現するそうです。

3. TCP/IP 通信のための準備

インターネットを利用して大型計算機センターの資源を活用するには、イーサネット接続とPPPで接続があります（シリアル接続でも利用は可能ですが、ここでは“5.1.3　話は それてシリア ル接続”で少し述べるだけにします）。ディスクトップ機ならイーサか、PPPのどちらかですが、PowerBookなら両方の可能性があります。この章では設定するマックにあった場所をお読みください。また、すでにTCP/IPを利用できる環境であれば“4.　ACOS の利用”、“5　SX/unix　の利用”系をお読みください。

3.1MacTCP

現在、マックでTCP/IPを利用する環境は2種類あります。MacTCPとOpenTransport（PCIマック用）です。前者は“3.1MacTCP ”に、後者は“3.2　OpenTransport ”に記述してありますので自分マックにあった項目をお読みください。

3.1.1 MacTCP のインストール

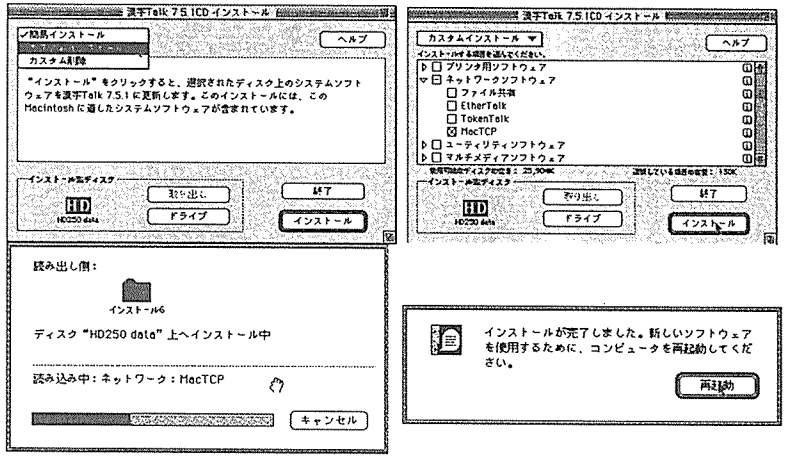
（イーサおよびPPPに必要です。すでにインストールされている方は次にお進みください。）

TCP/IPソフト －アップル社製商品－
一般的にMacTCPと呼ばれてます。マックにTCP/IPと言うプロトコルで通信させるためのトライバーソフト。漢字トーク7.5以降には、標準でCD-ROMに入っています。カスタマイズでインストールしてください。

漢字トーク7.1以前はApple Internetスタータキット（5千円程度）を購入してください。

MacTCPは標準インストールではインストールされません。

インストールCD（ Apple Macintosh CD）の 漢字Talk 7.5.1 インストールを起動して「カスタムインストール」を選択します。「ネットワークソフトウェア」の「MacTCP」を選択しインストールします。



3.1.2　イーサー接続

（研究室等からマックが直接イーサに接続されている方がお読みください。
PPP接続のみの方は、“3.1.3　PPP 接続”をお読みください。）

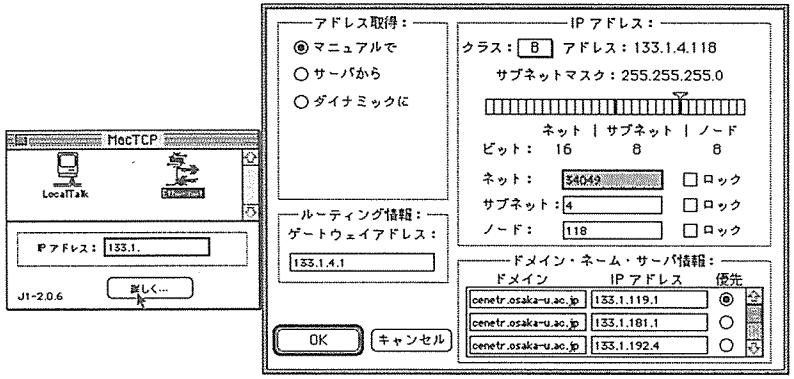
3.1.2.1 MacTCP の設定（コントロールパネル内）

ここでは接続されたマックのIPアドレス、サーバーのIPアドレス、ドメインネーム、ルーター（デフォルトゲートウェイ）のIPアドレスを設定します。
コントロールパネルのMacTCPを開いてください。
Ethernetはクリックして （反転）しておきます。

これから大阪大学キャンパスで利用する上での設定を記述します。

端末のIPアドレスおよび、他機関でのサーバーのIPアドレス、ドメインネーム等は部局担当者もしくは技術担当者の方にお聞きください。また、ネームサーバは大阪大学の学部や部局等でサービスしているところもあります。

> サブネットマスクはクラスの後で指定します。変更方法は□□□□□の上にあるつまみ（つまみ）を左右にドラッグさせることにより値が変化します。



IPアドレスを設定します。：担当者にお聞きください。
［詳しく...］を押します。

アドレス取得：「●マニュアルで」

ルーティング情報、ゲートウェイアドレス：担当者にお聞きください。

クラス：B（大阪大学以外の方は担当者にお聞きください。）

サブネットマスク：255.255.255.0（大阪大学以外の方は担当者にお聞きください。）

ドメイン・ネーム・サーバ情報：（大阪大学以外の方は担当者にお聞きください。
また、学内でもネームサーバを立ち上げている場合はその情報を最初に記述し（優先）としておいてください。）

豊中キャンパス
ドメイン：center.osaka-u.ac.jp
IPアドレス：133.1.181.1（優先）
IPアドレス：133.1.119.1
IPアドレス：133.1.192.4

吹田キャンパス
ドメイン：center.osaka-u.ac.jp
IPアドレス：133.1.119.1（優先）
IPアドレス：133.1.181.1
IPアドレス：133.1.192.4

これで完了です。[OK]を押した後、クローズボックスでMacTCPを閉じてください。
また、MacTCPの情報はよく目のつくところに張っておいてください。
PPP接続の設定をされる方はここで、“3.1.4　イーサー接続と PPP 接続（複数のTCP/IP環境を切り替えて利用）”のとおりにMacTCP設定を保存します。

3.1.3　PPP接続

（自宅や研究室のマックをモデム経由で利用したい方がお読みください。）

3.1.3.1　PPPのインストール

MacPPPを入手し、 ConfigPPPと PPPをシステムフォルダにドラッグ＆ドロップし、再起動します。

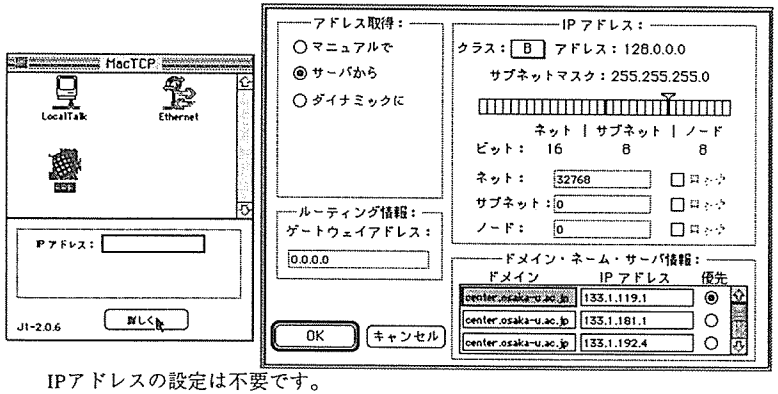
3.1.3.2　 MacTCP の設定（コントロールパネル内）

ここでは接続されたマックのクラス、サブネットマスク、ドメインネーム、ルーター（デフォルトゲートウェイ）のIPアドレスを設定します。

コントロールパネルのMacTCPを開いてください。

PPPはクリックして （反転）しておきます。

> サブネットマスクはクラスの後で指定します。変更方法は□□□□□の上にあるつまみ（つまみ）を左右にドラッグさせることにより値が変化します。



IPアドレスの設定は不要です。
［詳しく...］を押します。

アドレス取得：「◉サーバから」

ルーティング情報、ゲートウェイアドレス：133.1.4.1

クラス：B

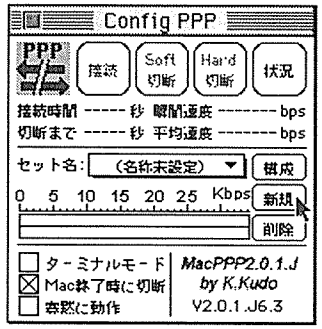
サブネットマスク：255.255.255.0

ドメイン・ネーム・サーバ情報：
ドメイン：center.osaka-u.ac.jp（すべて同じです）
IPアドレス：133.1.119.1（優先）
IPアドレス：133.1.181.1
IPアドレス：133.1.192.4

TCP/IP接続と切り替えて利用される方はここで、3.1.4　イーサー接続とPPP接続（複数のTCP/IP環境を切り替えて利用）のとおりにMacTCP設定を保存します。

3.1.3.3 ConfigPPP の設定（コントロールパネル内）

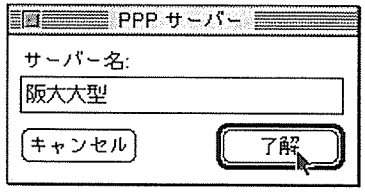
起動すると以下のウィンドウが表示されます。



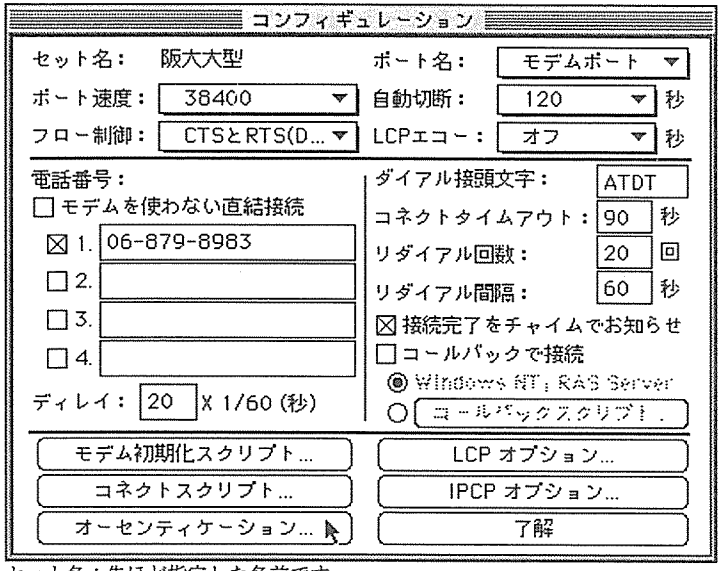
ターミナルモード：手動の接続モードです。大阪大学大型計算機センターでは自動(PAP)で接続できるので、不要です。

寡黙に動作：チェックしておくとデータの流れていない時間が、コンフィギュレーションの自動切断で設定した時間が過ぎると勝手に切断します。チェックしなければ時間が過ぎると切断するかどうか聞いてきます。

新たに設定するので［新規］を押します。接続先の名前（セット名）を聞いてくるので、分かりやすい名前を入力します。
ここでは「阪大大型」とします。



セット名が「阪大大型」になっているのを確認し、［構成］を押してコンフィギュレーションのウィンドウを表示します。



セット名：先ほど指定した名前です。

ボート速度：モデムとマック間の通信速度です。センター側での設定速度の設定は38,400bpsです。利用しているモデムが14,400bps以上ならば38,400bps、9,600bpsならば28800bps、24,00bpsならば4,800bpsを目安に指定してください。

ボート速度計算方法＝モデムの通信速度×a（MNP5：a=2、V.42bis：a=3）。

モデムが発信しない（電話を掛けない）場合はこの前後の値を試してください（マニュアルでモデムとパソコン間の通信速度（センススピード）を確認すると確実に設定できます）。

フロー制御：CTS&RTS(DTR)を指定してください。

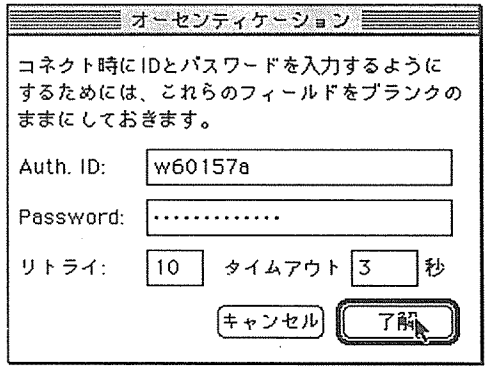
電話番号：ここでは大阪市外（06以外）から掛けた電話番号が指定されています。

０６地域内	：８７９－８９８３
大阪大学内線	：８９８３
０発信が必要＆０６地域内	：０，８７９－８９８３
０発信が必要＆０６地域外	：０，０６－８７９－８９８３

ダイアル接頭文字：ここではトーン（プッシュ）回線です。

ダイアル回線	：ＡＴＤＰ
０発信が必要＆トーン回線	：ＡＴＸ３ＤＴ（携帯電話＆PHS）
０発信が必要＆ダイアル回線	：ＡＴＸ３ＤＰ

この程度設定しましたら［オーセンティケーション...］を押して、Auth. ID（利用者番号）とPasswordを指定して［了解］を押します。



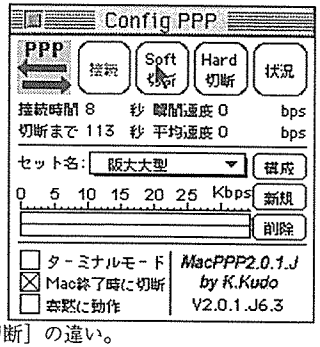
コンフィギュレーションで［了解］を押して終了です。

3.1.3.4　さあ、接続してみましょう

Config PPPで［接続］を押して接続してみましょう。
接続状況が表示されます。
問い合わせをする時のためにCONNECTメッセージの通信速度(28800等)と圧縮クラス(V.42bis or MNP5)を確認しておいてください。

接続できますとConfigPPPの絵が

からに変わります。
PPP接続時は常に表示しておくと、接続時間の確認や、切断が行えるので便利です。

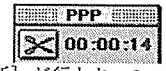


［Soft切断］と［Hard切断］の違い。
［Soft切断］で切断した場合は、次のTCP/IP要求時に自動で接続します。
（Eudoraの［私書箱をチェック］は失敗する場合があります。）
［Hard切断］の場合はConfigPPP（手動）で［接続］しなければなりません。

3.1.3.5　PPP接続時に便利なコントロールパネル

（特に小さな画面を利用している方）

PPP floaterを入手し、コントロールパネルに入れることにより、PPP接続時に以下のウィンドウが表示されます。このウィンドウからPPP接続時間の表示と切断が行えます。



をクリックすると［Soft切断］が行われ、[option]を押しながらクリックすると［Hard切断］が行われます。

3.1.4　イーサー接続と PPP接続（複数のTCP/IP環境を切り替えて利用）

（イーサー接続とPPP接続、もしくは複数のPPP接続先がある人は必読。）

Power Bookなどで研究室ではイーサネット、自宅ではPPPで利用する場合、接続形態が変わるたびにMacTCPの設定を行う必要があります。この操作は毎回同じ事の繰り返しです。また、間違えて設定しますと、再設定後に再起動する羽目になります。
これらの操作から解放してくれる便利な（複数のTCP/IPの環境を切り替える）toolがあるので紹介します。

MacTCP Exchanger（日本語版）、
MacTCP Switcherの二つです（これ以外にもあると思いますが）。これらは、MacTCPで行った設定を個別の設定ファイルに保存します。また、この設定ファイルを指定することによりMacTCPに保存された設定が戻されます。

MacTCP Exchangerはコントロールパネルです。
設定変更後に即利用可能か、再起動が必要かを教えてくれます。
MacTCPの設定は初期設定内のMacTCP Prep Poolフォルダ内に利用者が設定した名前で
タグとして作成されます（利用者が意識する必要はありません）。この複数あるタグの値をMacTCPに任意にセットすることができる訳です。

MacTCP Switcherはアプリケーションです。

MacTCP Switcherを操作しますと、現在のMacTCPの設定が保存 されます。
設定を変更するときはこれをダブルクリックします。
以下、簡単に説明します。詳細はシステム付属のマニュアルをお読みください。

3.1.4.1 MacTCP Exchanger

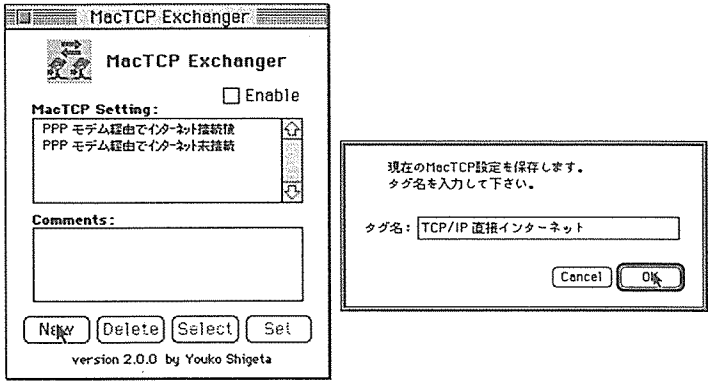
入手後、コントロールパネルに入れます。

MacTCPの設定後にMacTCPを閉じて、MacTCP Exchangerを起動します。

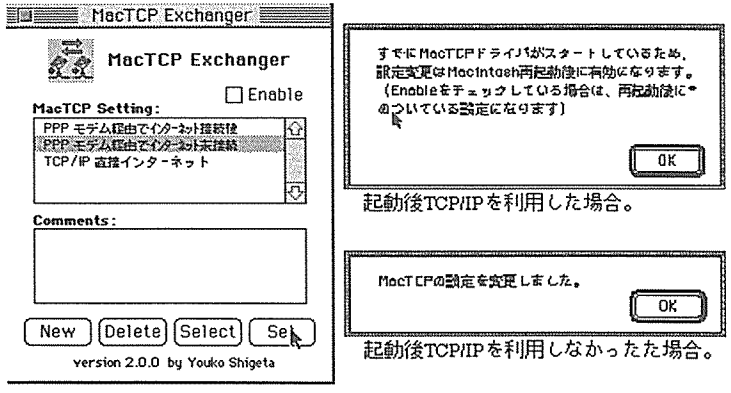
[New]を押すとタグ（MacTCPの各々の設定ファイル）名を入力するダイアログが表示されます。

現在のMacTCPの設定が分かるようなタグ名を入力し、[OK]を押します。

MacTCPとMacTCP Exchangerは同時に起動することはできません。



MacTCPの設定を変更する場合はMacTCP Exchangerから選択し、[Set]を押します。セット後に再起動が必要かどうかはダイアログに表示されます。



起動後TCP/IPを利用した場合。

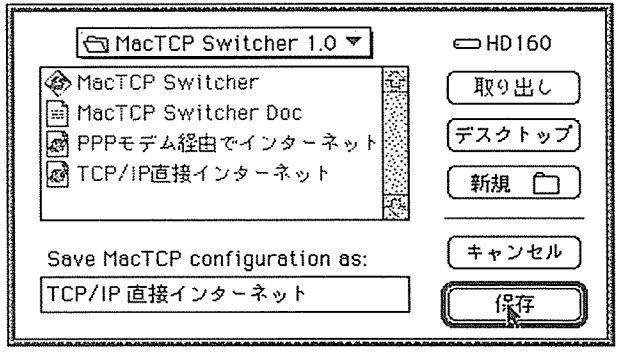
起動後TCP/IPを利用しなかったた場合。

3.1.4.2 MacTCP Switcher

MacTCPの設定後にMacTCPを閉じて、MacTCP Switcherを起動します。

現在のMacTCPの設定を保存するダイアログが表示されます。

現在のMacTCPの設定が分かるような設定ファイル名を入力し、［保存］を押します。

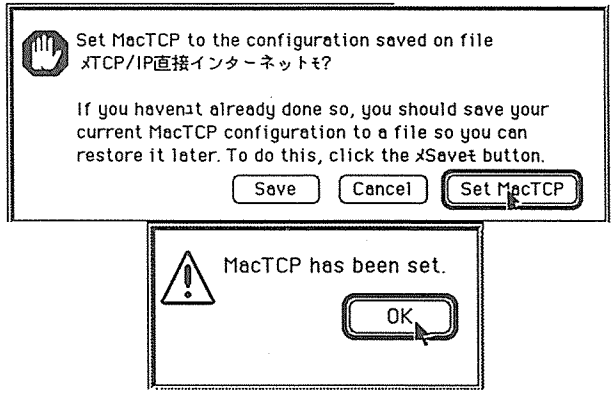


このアイコン で設定ファイルが保存されます。

MacTCPの設定を変更する場合は設定ファイルをダブルクリックすると、次のダイアログが表示され、設定を更新するかどうか聞いてきますので[Set MacTCP]を押します。

（更新する前に、現在の設定を保存するには[Save]を押します。）

MacTCPの設定が変更された旨を示すダイアログに表示されます。



3.2 OpenTranport

最初にバージョンを確認し、J1-1.1以上のバージョンをインストールしておいてください。まだ、これでも不都合があるみたいですが、とりあえずこれしかありません。

3.2.1 & OpenTranport のインストール

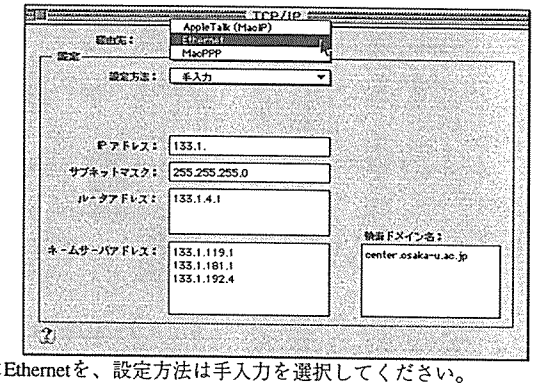
（イーサおよびPPPに必要ですが、すでにインストールされている方は次にお進みください。）
TCP/IPの設定を複数切り換えて利用される方は3.2.4 イーサ ー接続と PPP 接続を先にお読みください。

3.2.2 イーサー接続

（研究室等からマックが直接イーサに接続されている方がお読みください。
PPP接続のみの方は、3.2.3 PPP接続をお読みください。）

3.2.2.1 TCP/IP の設定（コントロールパネル内）

コントロールパネル内のTCP/IPを開いてください。
ここではマックのIPアドレス、サブネットマスク、検索ドメイン名、ルーターアドレス、ネームサーバアドレスを設定します。



経由先はEthernetを、設定方法は手入力を選択してください。

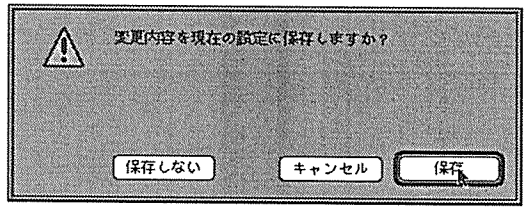
IPアドレスを設定します。：担当者にお聞きください。
サブネットマスク：255.255.255.0
ルーティング情報、ゲートウェイアドレス：担当者にお聞きください。

ネームサーバアドレス：（大阪大学以外の方は担当者にお聞きください。
また、学内でもネームサーバを立ち上げている場合はそのアドレスを最初に記述してください。）
大阪大学・豊中キャンパスならネームサーバアドレスは以下の順で記述してください。
133.1.181.1
133.1.119.1
133.1.192.4

大阪大学・吹田キャンパスならネームサーバアドレスは以下の順で記述してください。
133.1.119.1
133.1.181.1
133.1.192.4

検索ドメイン名：自分のメールアドレスの@以降を記述してください。

設定し終わったら、クローズボックスでTCP/IPを閉じてください。
以下のダイアログが表示されるので、[保存]を押して完了です。



また、TCP/IPの情報はよく目のつくところに張っておいてください。

3.2.3 PPP接続

（自宅や研究室のマックをモデム経由で利用したい方がお読みください。）

3.2.3.1 PPPのインストール

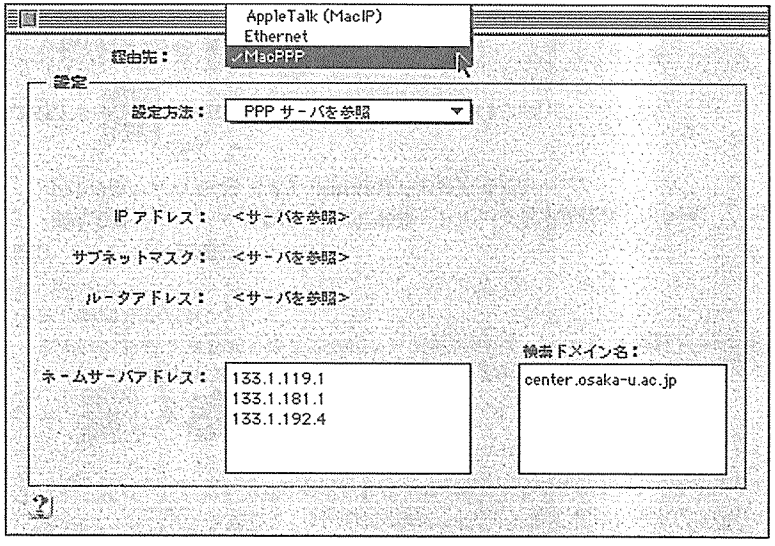
OpenTranportではFreePPP1.0.5またはMacPPP2.5Jを利用してください。またFreePPP 2.5rfは利用できないので注意してください。'97春にリリース予定のOpenTransport 1.5にはPPPの機能が統合されています。

FreePPP1.0.5を入手し、 ConfigPPPと & PPPをシステムフォルダにドラッグ＆ドロップし、再起動します。

（FreePPP以外に CyberGate1.3.2もOpenTranportをサポートしています。）

3.2.3.2 TCP/IP の設定（コントロールパネル内）

コントロールパネル内のTCP/IPを開いてください。
ここでは検索ドメイン名、ネームサーバアドレスを設定します。

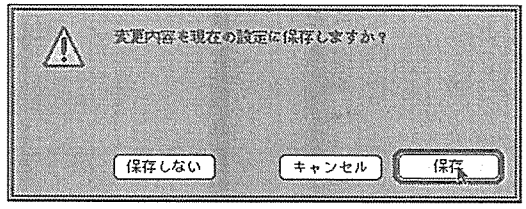


経由先はMacPPPを、設定方法はPPPサーバを参照を選択してください。
ネームサーバアドレス：以下の順で記述してください。

133.1.119.1
133.1.181.1
133.1.192.4

検索ドメイン名：center.osaka-u.ac.jp

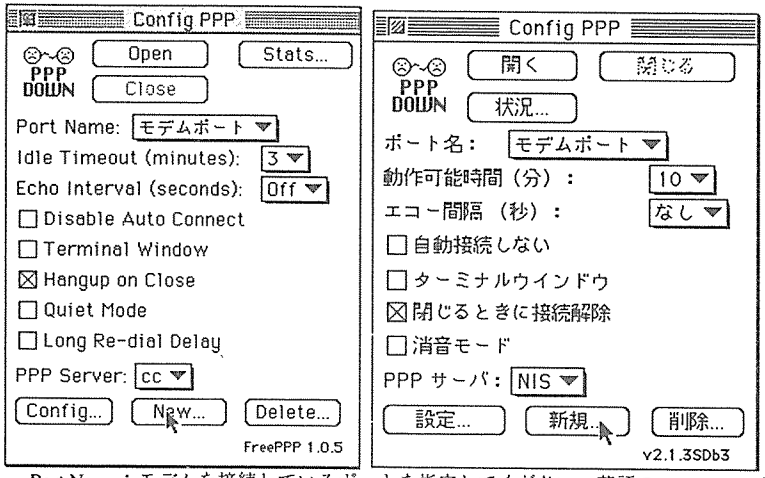
設定し終わったら、クローズボックスでTCP/IPを閉じてください。
以下のダイアログが表示されるので、[保存]を押して完了です。



また、TCP/IPの情報はよく目のつくところに張っておいてください。

3.2.3.3 ConfigPPP の設定（コントロールパネル内）

起動すると以下のウィンドウが表示されます。（日本語版はMacPPP 2.5J）



Port Name：モデムを接続しているポートを指定してください。英語のModem Portだと漢字TALKではエラーになります。

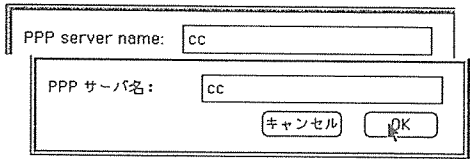
Idle Timeout：指定した時間（分）、データが流れていないと切断するかどうか聞いてきます。下のQuiet Modeをチェックしておくと時間が過ぎると自動的に切断します。

Echo Interval(seconds)：PPPのの接続が切れているかどうかを調べる間隔です。

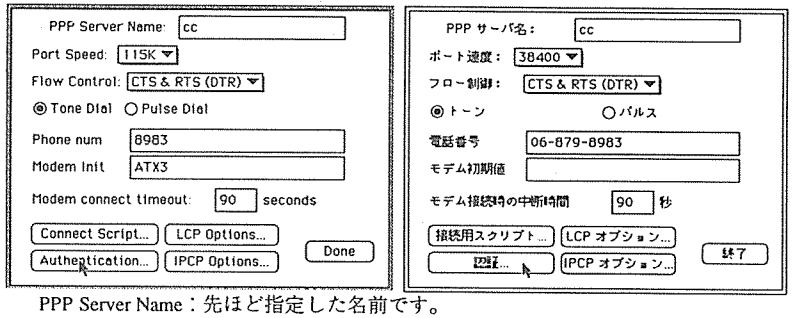
Terminal Window：手動の接続モードです。大阪大学大型計算機センターでは自動(PAP)で接続できるので、不要です。

新たに設定するので［New...］を押します。

接続先の名前(PPP Server name)を聞いてくるので、分かりやすい名前を入力します。ここでは「cc」とします。



セット名が「cc」になっているのを確認し、［Config...］を押してコンフィギュレーションのウィンドウを表示します。



PPP Server Name：先ほど指定した名前です。

Port Speed：モデムとマック間の通信速度です。センター側での設定速度の設定は38,400bpsです。利用しているモデムが14,400bps以上ならば38,400bps、9,600bpsならば28800bps、24,00bpsならば4,800bpsを目安に指定してください。

ポート速度計算方法＝モデムの通信速度×a（MNP5：a=2、V.42bis：a=3）。

モデムが発信しない（電話を掛けない）場合はこの前後の値を試してください（マニュアルでモデムとパソコン間の通信速度（センススピード）を確認すると確実に設定できます）。

Flow Control：CTS&RTS(DTR)を指定してください。

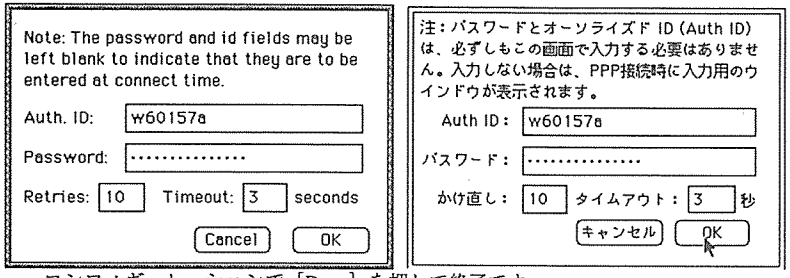
Tone Dial or Pulse Dial：ここではトーン（プッシュ）回線です。

phone num：ここでは学内の内線から掛けた電話番号が指定されています。

０６地域内	：８７９－８９８３
大阪大学内線	：８９８３
０発信が必要＆０６地域内	：０，８７９－８９８３
０発信が必要＆０６地域外	：０，０６－８７９－８９８３

Modem Init：ここでは構内電話の場合です。自宅からの場合は不要です。

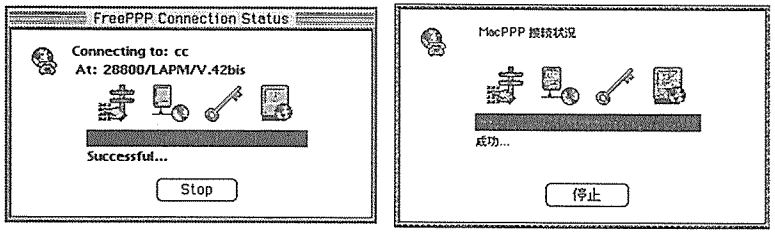
この程度設定しましたら［Authentication...］を押して、Auth. ID（利用者番号）とPasswordを指定して［OK］を押します。



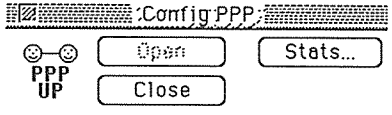
コンフィギュレーションで［Done］を押して終了です。

3.2.3.4　さあ、接続してみましょう

Config PPPで［open］を押して接続してみましょう。
4種類の絵で接続状況が随時表示されます。
問い合わせをする時のためにCONNECTメッセージの通信速度(28800等)と圧縮クラス(V.42bis or MNP5)を確認しておいてください。

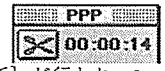


接続できますとConfigPPPの絵が PPP DOWN から PPP UP に変わります。
PPP接続時は常に表示しておくと、接続の確認や、切断が行えるので便利です。



3.2.3.5　PPP 接続時に便利なコントロールパネル　(特に小さな画面を利用している方)

PPP floaterを入手し、コントロールパネルに入れることにより、PPP接続時に以下のウィンドウが表示されます。このウィンドウからPPP接続時間の表示と切断が行えます。



をクリックすると［Soft切断］が行われ、[option]を押しながらクリックすると［Hard切断］が行われます。

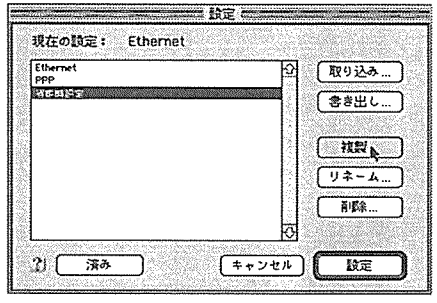
［Soft切断］と［Hard切断］の違い。
［Soft切断］で切断した場合は、次のTCP/IP要求時に自動で接続します。
（Eudoraの［私書箱をチェック］は失敗する場合があります。）
［Hard切断］の場合はConfigPPP（手動）で［接続］しなければなりません。

3.2.4　イーサー接続と PPP接続

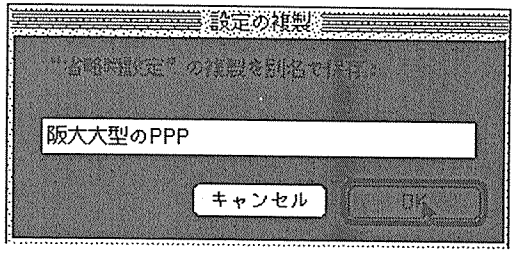
MacTCPの環境ではMacTCPの設定を置き換えるアプリケーションで切り換えていましたが、OpenTranportではTCP/IPで各設定を保存し切り換えることができます。

TCP/IPを起動した後、[設定...]を選択します。

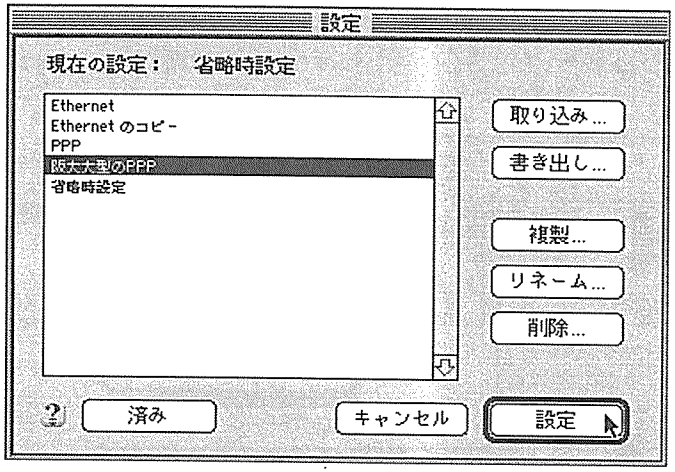
省略時設定などを選択して複製を押します。



適当な名前を付けて[OK]を押します。



そのまま[設定]を押してから、3.2.2.1もしくは3.2.3.2に戻り、TCP/IPの設定を行います。



注意：TCP/IPを設定する前に保存先を作成しておかないと、既存の設定は上書きされて無くなってしまいます。

4.　ACOSの利用

マックでインターネットを経由してACOSを利用する場合には、次の３つアプリケーションがあれば、ほぼ快適に利用できます。

areTerm：通信。NCSA Telnetでも代用できますが、ACOSにはこちらを推奨します。
Fetch：ファイル転送。
Jedit：エディタ。ACOSの漢字コードがそのまま利用できます。

4.1　通信（telnet）

4.1.1　areTerm の設定と利用

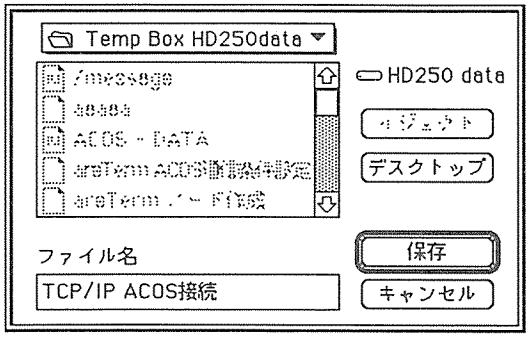
areTerm　シェアウエア1,000円

TCP/IP経由およびシリアル（モデム）経由で通信できるアプリケーションです。
ノード（接続先設定）は接続先ごとに作成し、必ずセーブを取るようにします。

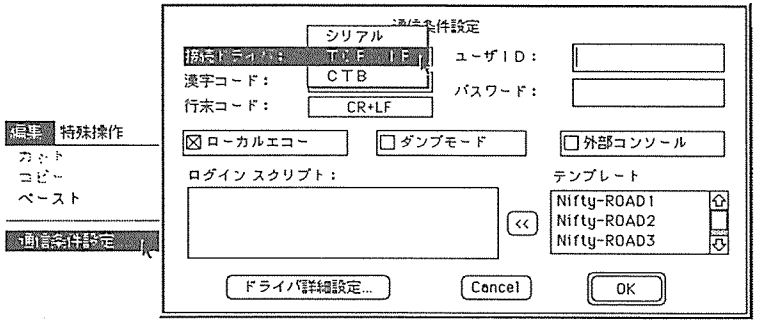
NCSA Telnetより優れている点（ACOSに接続した場合）
・returnキーがそのまま使えます。
・漢字の入力ができます。（NCSA Telnetの設定ミスかもしれませんが・・・）
・矩型のコピーができます。
・余談ですが、インターネット経由でNIFTY-Serve等から直接ダウンロードできます。

areTermを最初に起動するとノードファイルを聞いてくるのでキャンセルします。
そしてメニューバーのノード作成を選択します。

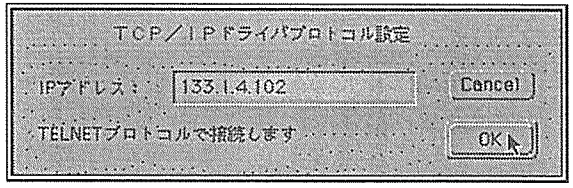
次にノードファイルの名前をきいてくるので適当な名前を付け「保存」を選択します。



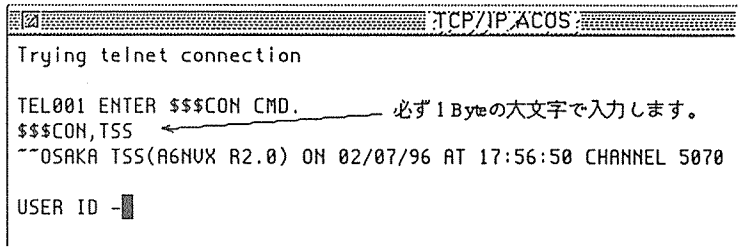
メニューバーの通信条件設定...を選択します。



接続ドライバでTCP/IPを設定し、ローカルエコーをチェックします。
その後ドライバの詳細設定...を選択します。
TCP/IPドライバプロトコル設定でACOSのIPアドレス１３３．１．４．１０２を設定し[OK]を押します。



これで ファイルが作成されるので、次からはこのファイルをダブルクリックしてareTermを起動します。



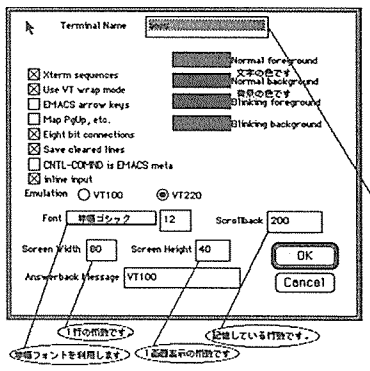
4.1.2　NCSA Telnet-J の設定と利用

NCSA Telnetの設定

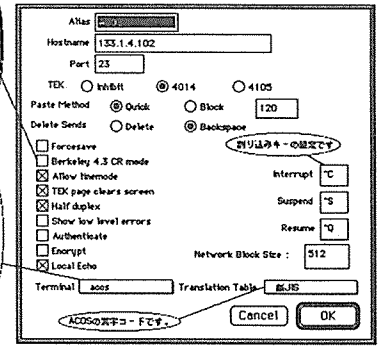
ACOSを利用するにはNCSA Telnetより先のareTermが便利ですが、NCSA Telnetの利用者が多いのと利用できないこともないので設定を記述します。

> 漢字の入力不可。（NCSA Telnetの設定ミスかもしれませんが・・・）
>
> リターンが[control]+jです。（ACOSを利用する場合LocalEchoをonにします。この場合は[return]キーを押すと、２回[return]キーを押したことになるので、[return]キーの代わりに[control]+jを利用してください。）

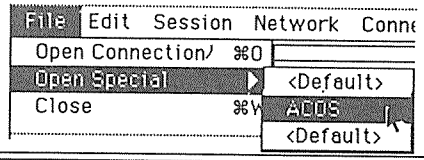
Edit,Preferences,Terminalsでnewを選択します。

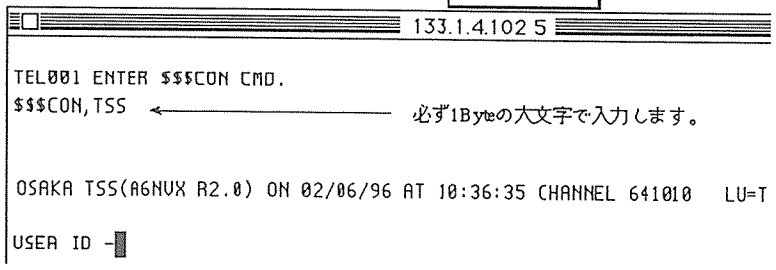


Edit,Preferences,Sessionsでnewを選択します。



次からは以下の操作で接続できます。





4.2 ファイル転送

Macのファイル転送で有名なのはFetchです。また、エディタとしてJeditを説明します。このエディタを利用することで、送受信した漢字コードの取り扱いが非常に簡単になりました。実際このエディタが存在しなければマックからインターネットを経由してACOSを利用するのはあまり薦められませんでした。これはACOSの漢字コードが特殊であり、ACOSで対応できるのはJISコードだったからです。

ACOS(日本電気JIS <--> JIS) <--FTP --> Mac(JIS <--> S-JIS)。

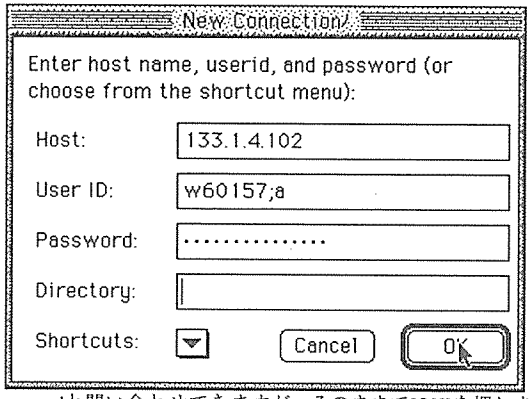
矢印が実際の操作ですが、Jeditを利用することにより２回文字コードの変換する手間がなくなり、次のように操作が簡略されます。

ACOS <--FTP --> Mac(Jedit)。

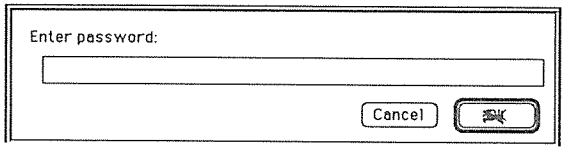
4.2.1 Fetch ファイルの転送

Fetchで実際ファイル転送された方もいるとは思いますが、ACOSの場合はunixに接続する場合と少し異なります。これはACOSがFTPに完全に準拠していないためです。

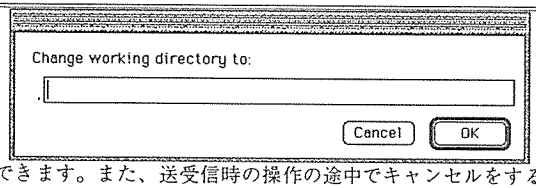
１．Ｕｓｅｒ　ＩＤ：に利用者番号と支払コードを;で区切って指定する。
　　Ｐａｓｓｗｏｒｄ：にパスワードを指定する。



２．Enter passwordと問い合わせてきますが、そのままで[OK]を押します。



ACOSのカタログ名はFetchのウインドウに表示されません。
カタログ配下にあるファイル名を指定する場合はメニューバーのDirectoriesからChange Directory...（⌘＋Ｄ）を指定して次のウインドウでCATALOG名を入力してください。



これで利用できます。また、送受信時の操作の途中でキャンセルをすると接続が切れることがあります。

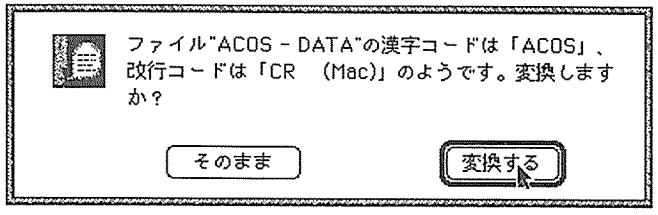
4.2.2　Jedit こんな便利なエディタは他にはない　！！

ACOSの漢字はシフトコードが特殊なため、ftpしてそのまま開けるエディタはほとんどありません。そういう意味でかなり奇特なエディタといえます。

JeditとACOSと漢字コード

このエディタは、ACOSからFTPしたファイルの漢字コードを自動変換をしてくれます。

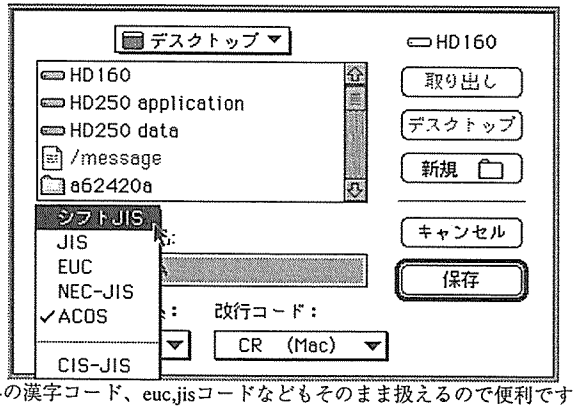
ACOSからgetしたテキストファイルをドラッグ&ドロップ等で開くと、漢字コード変換ダイアログが表示されるので、［変換する］を選択するとマック（S-JIS）で開けます。



Jeditでは「保存」選択すると開いたときの漢字コードで保存されるので、漢字コードを変更したい場合は「別名で保存...」を選択し漢字コード体系を今後作業するマシンに合わせて変更してください。

改行コードはFTPにより自動変換されるので（CR(Mac)）を変更する必要はありません。

ちなみに、マックで作成したテキストをACOSにputするには「別名で保存...」を選択し漢字コード体系をACOSに改行コードをCR(Mac)で保存し、テキスト形式でputします。



ACOS以外の漢字コード、euc,jisコードなどもそのまま扱えるので便利ですよ。

Jedit1.0.5b0以前のバージョンはACOSの漢字コードに対応できていません。
これより新しいバージョンを入手して利用してください。

機種	文字コード
ＡＣＯＳ	日本電気ＪＩＳコード
ｓｐａｒｃ	ＪＩＳコード
ｕｎｉｘ系（sparc以外）	ＥＵＣコード
パソコン	Ｓ－ＪＩＳコード

阪大大計の機種別文字コードは上記のとおりです。

残念ながら日本電気以外の汎用機と呼ばれるコンピュータの漢字コードには対応していないみたいです。

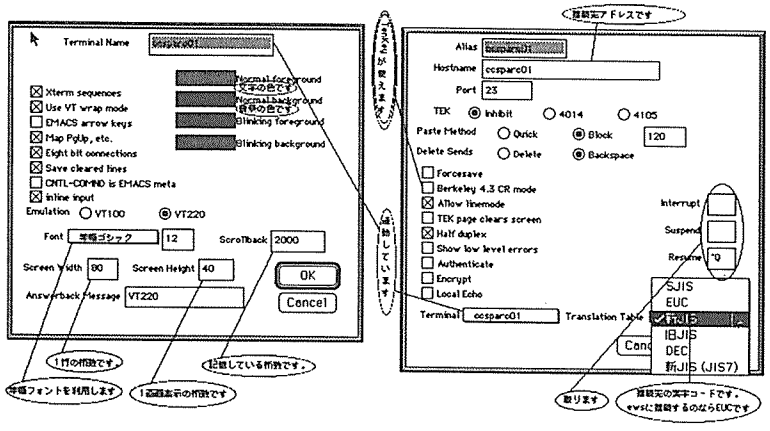
5. SX/unix の利用

5.1 通信（telnet）

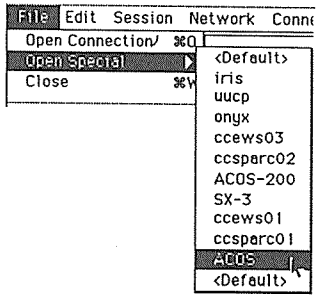
5.1.1 NCSA Telnet-J の設定

マックでイーサを経由してunix系を利用する場合は、接続先がメニューバーより複数指定できるNCSA Telnetが便利です。また、areTermですと接続先の設定が各々のファイルとして存在しているので、別ホストを接続する場合はFinderに戻る必要がありません（遅いマックだとちょっと辛いです(^_^;)）。

Edit,Preferences,Terminalsでnewを選択します。　Edit,Preferences,Sessionsでnewを選択します。



利用するホストごとに作成しておくと、次からの利用が便利になります。



5.1.2 areTerm の設定　シェアウエア　1,000円

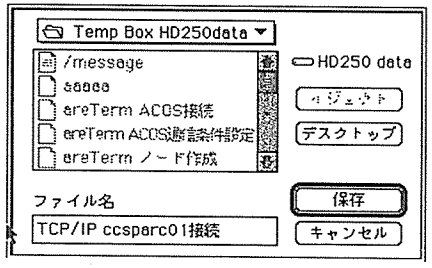
TCP/IP経由およびシリアル（モデム）経由で通信できるアプリケーションです。

Ninja Termと異なる点　・Kermitのファイル転送が行えます。
Mac Kermitと異なる点　・日本語表示ができます。

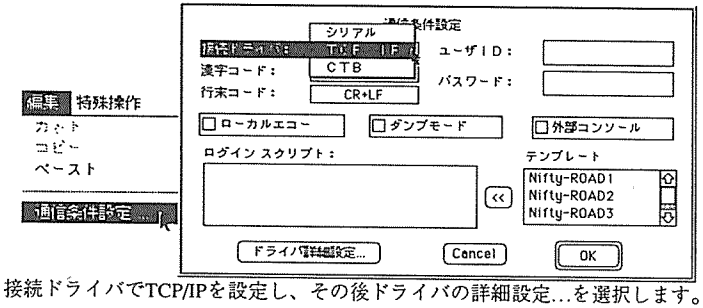
areTermを起動してメニューバーのノード作成を選択します。
ノード（接続先設定）は接続先ごとに作成し、必ずセーブを取るようにします。

areTermを最初に起動するとノードファイルを聞いてくるのでキャンセルします。
そしてメニューバーのノード作成を選択します。

次にノードファイルの名前をきいてくるので適当な名前を付け「保存」を選択します。

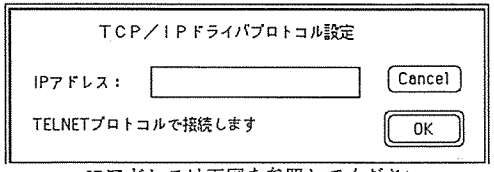


メニューバーの通信条件設定...を選択します。



接続ドライバでTCP/IPを設定し、その後ドライバの詳細設定...を選択します。
TCP/IPドライバプロトコル設定で次表を参照してIPアドレスを設定し[OK]を押します。

ドライバ詳細設定...（接続ドライバ＝TCP/IP）



IPアドレスは下図を参照してください。

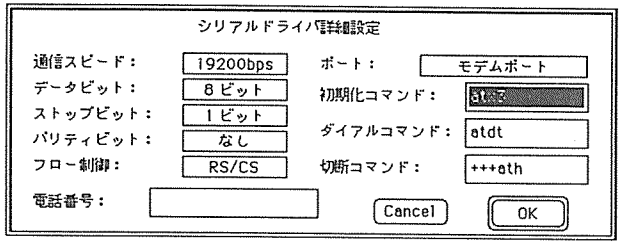
＜IPネットワークのIPアドレス、ドメイン名＞

システム名 System name	ドメイン名 Domain name	IPアドレス IP Address	主記憶 Main Mamory	設置場所 Installation
ACOS-3900/10 汎用機	acos	133.1.4.102	256MB	--
SX-3/14R スーパーコンピュータ	ccsx3	133.1.106.4	1GB 拡張記憶2GB	第4 TSS 端末室
DEC AlphaStation 600 5/333	ccalpha01	133.1.4.22	512MB	
SPARC station 2GX	ccsparc01	133.1.4.34	32MB	
SPARC station ELC	ccsparc02 pop-server news-server	133.1.4.35	8MB	
EWS4800/350 スプールサーバー	ccspol01	--	64MB	
EWS4800/360 マルチメディアサーバ	ccews03	133.1.4.13	256MB	
UP4800/635 ファイルサーバ	ccup01	133.1.4.114	128MB	
IRIS Onyx	cconyx01	133.1.4.125	1G	第2 TSS 端末室
IRIS 4D/310VGX	cciris01	133.1.4.33	16MB	
EWS4800/260 PC98サーバ	ccews01	133.1.4.11	64MB	
EWS4800/210 システム処理状況表示サーバ	ccjob01	--	48MB	第1TSS 端末室
SGI TWO250MAX4	ccindigod01	133.1.8.10	256MB	豊中 データ ステーション
SPARC station ELC	ccsparc03	133.1.8.4	8MB	
EWS4800/50 マルチメディアサーバ	ccewsd01	133.1.8.40	32MB	
EWS4800/230	ccewsd02	133.1.8.41	32MB	
EWS4800/350	ccspld01	--	64MB	
EWS4800/210 処理状況表示サーバシステム	ccjob03	--	48MB	

センター外からドメイン名（Domain name）で利用する場合は、以下のようになります。

ドメイン名.center.osaka-u.ac.jp

5.1.3 話はそれてシリアル接続に

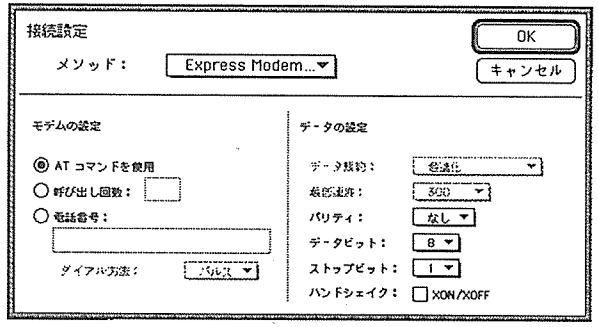


通信スピード：双方のモデムの遅いスピード（＊2 (MNP5)) or（＊3 (V.42bis))程度
初期化コマンドのatx3は構内回線のとき必ず指定してください。
ダイアルコマンドのatdtは電話がトーン発信（ピポパ）の場合です。
パルス（プルプルプル）の場合はatdpと指定します。
電話番号：ここに電話番号を記述すると起動時に自動発信（電話をかける）します。
記述をしない場合はatdp068798982等のコマンドを入力してください。

他の設定は次の表（無手順で接続する場合の設定）を参照してください。

＜無手順 (LEVEL 0) で接続する場合の設定＞

接続先 System	通信方式	データ長 Data Length	ストップビット Stop bit	パリティ Parity	フロー制御 Flow Control	文字種 Code	エコーバック Local Echo
ACOS3900	半二重	7 bit	1 bit	Even	Xon/Xoff	JIS	ON
sparc	全二重	8 bit		None	RS/CS		OFF
SX-3R alpha onxy iris ews up						EUC	



電話番号：ここは選択しないでください。選択し電話番号を記述すると、起動時に自動発信（電話をかける）しますがExpress Modemの初期設定が必要です。
User's Guideを理解して設定してください。
他の設定は前の表（無手順で接続する場合の設定）を参照してください。

ATコマンド
atx3は構内回線のとき必ず入力してください。
atdp068798982ダイヤル発信コマンドです。dはダイヤル、pはパルス発信でtに置き換えるとトーン発信します。

＜交換回線電話番号＞

接続先	通信速度	通信規格	ErrorFree	公衆回線	吹田内線	豊中内線	備考
PPP	28800	V.34	V.42	879-8983	9414 - 8		*1
TS	1200-9600	V.22bis,V29	MNP6	879-8982	9409	2664	
ACOS	300-9600	V.21,V32	MNP5,V.42	879-8980	9380		
	1200-9600	V.22bis,V29	MNP6	879-8981	9393		
	1200	VADIC仕様	--	--	9396		
	64000	X.21	--	879-2010	--		*2
	300,1200	V.21,V.22	--	163-060-614004	--		*3
学情AP	300--9600	V.21,V.32	MNP5,V.42	879-9864	--		*4

備考　*1　TS(Terminal Server)を経由すると汎用機(ACOS-3900),スーパーコンピュータ(SX-3R),ワークステーション(alpha,onxy,iris,sparc,ews等)に接続することができます。

*2　INSネット64　：　NECのDINA2同期式

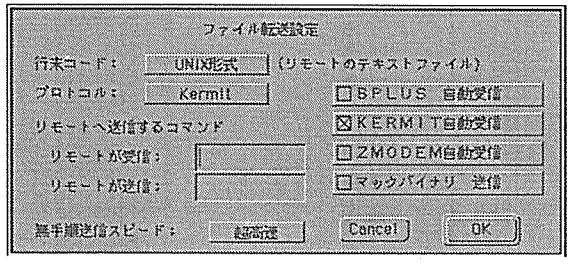
*3　DDX網間接続用。

*4　学術情報網大阪地区のアクセスポイント用。

（注）PPPと*2以外は無手順(LEVEL 0)を示す。

＜ファイル転送（Ｋｅｒｍｉｔ）＞

編集からファイル転送設定を選択します。
ファイル転送の設定をします。



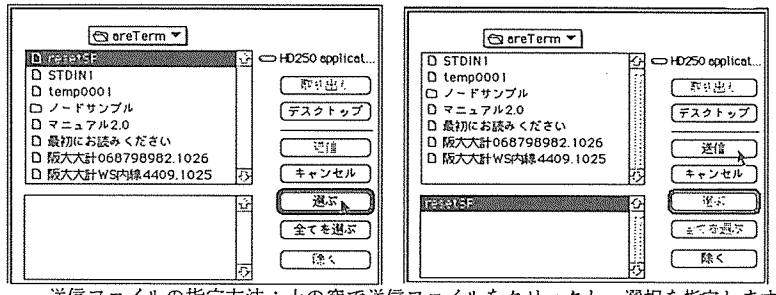
＜　Up-load　& mail 送信　＞

一括指定：kermit -k ¦ mail メールアドレス
（メールアドレスはニックネーム可）

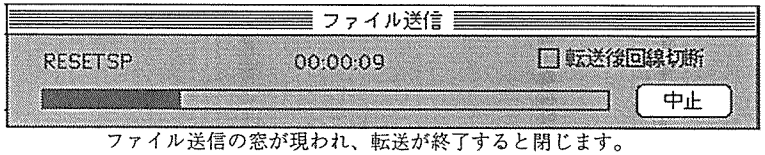
1．MacのApplication Word Processor Softで作成したファイルをText Only やテキスト形式で保存してください。

2．次にareTermで接続し、ファイル転送を開始します。
kermit -r
Escape back to your local system and give a SEND command...と表示されます。

3．メニューバーの特殊操作からテキストファイル送信...を選択します。
注意：漢字のファイル名は指定できません。



送信ファイルの指定方法：上の窓で送信ファイルをクリックし、選択を指定します。
指定後、送信を選択します。



ファイル送信の窓が現われ、転送が終了すると閉じます。

unix上に作成されるファイル名を変更する場合
kermit -k > unix上のファイル名

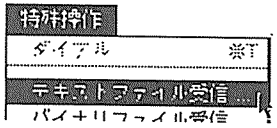
< Down-load >

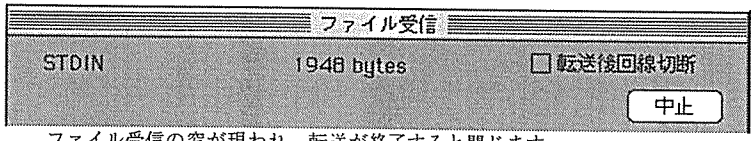
1．ファイル転送を開始します。

kermit -s 転送用ファイル

kermit -s 転送用ファイル -a マックファイル

Escape back to your local system and give a RECEIVE command... と表示されるので、受信を指定。





ファイル受信の窓が現われ、転送が終了すると閉じます。

areTermは自動的に文字コードの変換を行いますが、文字化けしている場合はnkfコマンドを併用してください。

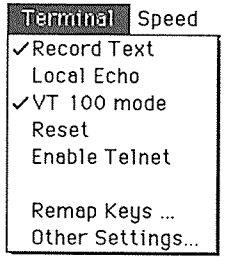
nkf -s 転送用ファイル¦kermit -s -

nkf - s 転送用ファイル¦kermit -s - -a マックファイル

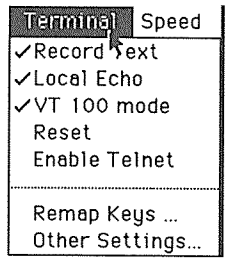
2．受信ファイルはareTermのアプリケーションのあるフォルダに作成されます。
受信ファイル名を省略した場合はSTDINとなります。

<<NinjaTerm の設定>> ファイル転送が行えません。

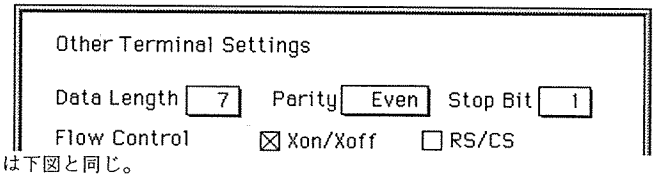
unix系に接続する場合の設定



ACOSに接続する場合の設定

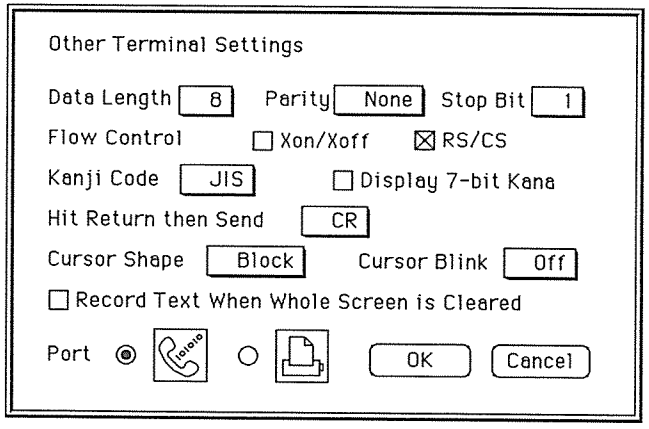


ACOS



以下は下図と同じ。

unix系



<<Mac Kermit >>

シリアルでファイル転送を行う場合はKermit（areTermでも行えます）を利用してください。
以下に手順を記述します。（メール送信も併せて記述します。）

Up-load &mail送信；
一括指定：kermit -k ¦ nkf ¦ mail メールアドレス　⌘+S
（メールアドレスはニックネーム可）

1．MacのApplication Word Processor Softで作成したファイルをText Only やテキスト形式で保存してください。
2．次にKermitで接続し、ファイル転送を開始します。
kermit -r
Escape back to your local system and give a SEND command...と表示
コマンドキー＋S（KermitのFileのSend file）を選択します。
ここで、開かれる窓でMacの送信用ファイルを選択して、returnします。
File Transfer Statusの窓が現われ、転送が終了すると閉じます。
－unix上に作成されるファイル名を変更する場合－
kermit -k > unix上のファイル名
コマンドキー＋S（KermitのFileのSend file)を選択します。
ここで、開かれる窓でMacの送信用ファイルを選択して、returnします。
File Transfer Statusの窓が現われ、転送が終了すると閉じます。
3．nkfコマンドで文字コードの変更を行います。
nkf Macからのファイル > 送信用ファイル
4．メールの送信を行います。
mail メールアドレス < 送信ファイル

Down-load；
一括指定：nkf -s メールファイル ¦ kermit -s -　⌘+R
nkf -s メールファイル ¦ kermit -s - -a 受信ファイル　⌘+R

1．Ninja-termでまず接続（Kermitでは日本語表示ができないみたいです）し、Down-loadするメールをファイルにします。
2．次にKermitで接続し、nkfコマンドで文字コードの変更を行います。
nkf -s メールファイル > 転送用ファイル
3．ファイル転送を開始します。
kermit -s 転送用ファイル
（または　kermit -s 転送用ファイル -a 受信ファイル）
Escape back to your local system and give a RECEIVE command...と表示
コマンドキー＋R（KermitのFileのReceive file）を選択します。
File Transfer Statusの窓が現われ、転送が終了すると閉じます。
4．受信ファイルはKermitのアプリケーションのあるフォルダに作成されます。
受信ファイル名を省略した場合はunix上のファイル名と同じ名前になります。
なお、文字コードの変更はMac上でも、ふみづかいやHenkan等を用いることにより行えます。

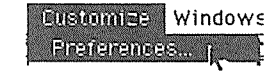
注意）unixのkermit コマンドとMacのkermitエミュレータではSENDとRECEIVEの指定は逆になります。

5.2　ファイル転送

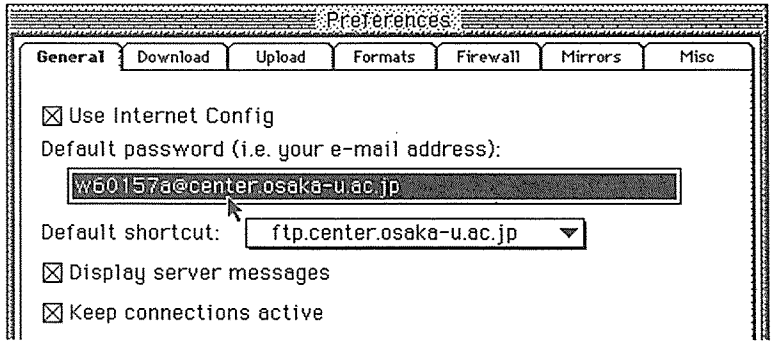
5.2.1 Fetch　ファイルの転送

1．初期設定

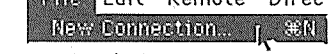
ほとんど設定する必要はありませんが、anonymous FTPを利用するマナーとして自分のメールidぐらいは設定しておきましょう。



のGeneralより設定できます。

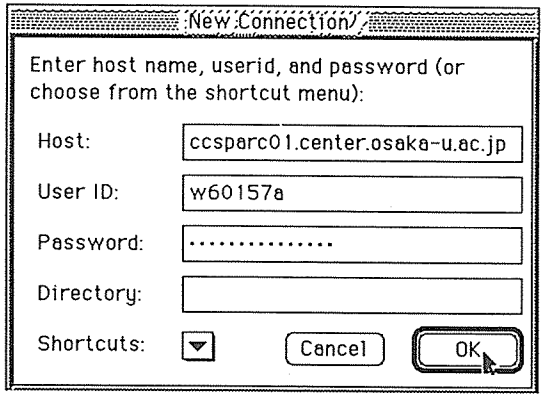


2．接続



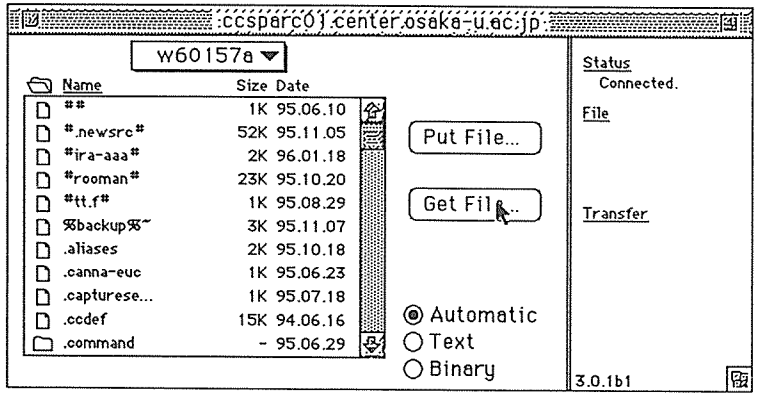
を選択し、接続設定のダイアログボックスを表示させ必要事項を記入します。

Host：接続ホストのドメイン名もしくはIPアドレスを入力します。
Ver.3以上ではUser ID,Passwordを何も指定しないとのanonymous FTPを指定したことになります。
Directory：ディレクトリが分かっている場合は記述すると、目的ファイルに速くたどり着けます。

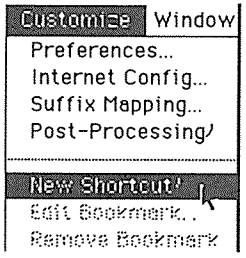


送信　Put File...のボタンを押すとダイアログボックスで送信するファイルを聞いてくるので選択し、[OK]を押します。

受信　Fetchの画面で受信するファイルを選択しGet File...ボタンを押します。保存先（mac）のフォルダとファイル名を聞いてくるので指定し、[OK]押します。

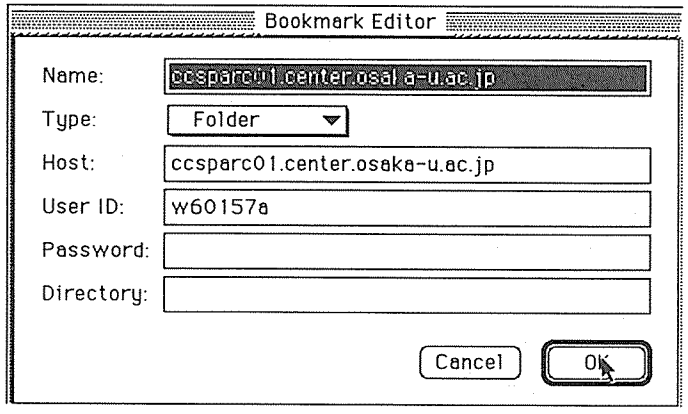


現在接続している接続先はShortcutとして保存でき、次からはマウスの操作だけで接続できるようになります。

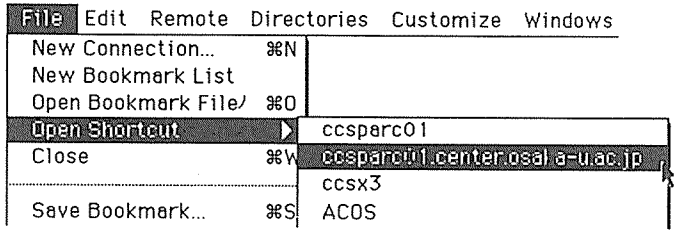


Shortcutをメニューから指定します。

必要事項を記入し、[OK]を押すと記録されます。



次からは以下の操作で接続できます。



5.2.2 Jedit こんな便利なエディタは他にはない！！

<<Jeditと漢字コード>>

このエディタは、JIS,EUC,ACOSの漢字コードを起動時に自動変換をしてくれます。
このため、unix上でnkfコマンドやマック上でのコード変換が不要になります。
文字化けや厄介な操作にお悩みの方はとても便利なツールと言えます。

機種	文字コード
ＡＣＯＳ	日本電気ＪＩＳコード
ｓｐａｒｃ	ＪＩＳコード
ｕｎｉｘ系（sparc以外）	ＥＵＣコード
パソコン	Ｓ－ＪＩＳコード

阪大大計の機種別文字コードは上記のとおりです。

残念ながら日本電気以外の汎用機と呼ばれれるコンピュータの漢字コードには対応していないみたいです。

5.2.3 漢字コード変換アプリケーション

Henkan、ふみづかい等があります。

先にJeditを紹介しましたが、漢字変換のみのアプリケーションとして上記のものがあります。たくさんのファイルをコード変換したい方や、ファイルをJedit以外で加工したい方には便利です。
操作はアプリケーション付属のマニュアルをご覧ください。（ドラッグ＆ドロップで利用できます）。

6. unix を知らなくてもできるインターネットの活用

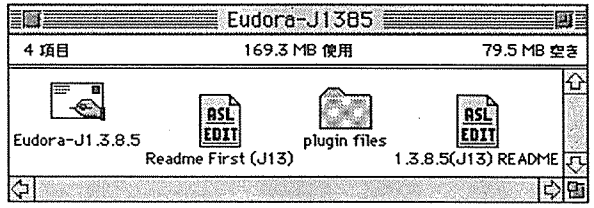
6.1 電子メール

電子メールはtelnetでも利用できますが、POP（Post Office Protocol）を利用したアプリケーションですとunixのコマンドを意識しないで利用できるので便利です。

Macでは Eudoraを利用されている方が多分一番多いでしょうから、Eudoraについて説明します。また、Eudora PROという製品版もあります（設定方法は若干異なりますが使い勝手はほぼ同じで、動作が安定しています）。

6.1.1 Eudora のセットアップ手順

Eudora-J1385.sit.hqxをFetchをgetしてきて解凍すると、以下のようにファイルが作成されます。



<<複数の人が１台のマックで　Eudora-J　を利用する方法。>>

① 最初にEudoraを起動してすぐ終了します。（以後、Eudoraからは起動しません。）
② システムフォルダ内に電子メールフォルダが作成されています。
この電子メールフォルダを複製して個人用にします。
③ 個人用に設定するのは複製したものをシステムフォルダ外へ移動させてその中の電子メール設定より起動し、個人用の設定をします。
（以後の起動は設定電子メール設定から行いますので、のエイリアスを作成し、起動しやすい場所におくと便利です。）
④ フロッピーディスクに個人の電子メールフォルダを作成することにより、プライバシーが守られます。
⑤ 利用する人ごとに電子メールフォルダを複製して個人用の設定を行います。
また、システムフォルダ内の電子メールフォルダは複製専用にし、ここからの起動は行わないようにします。

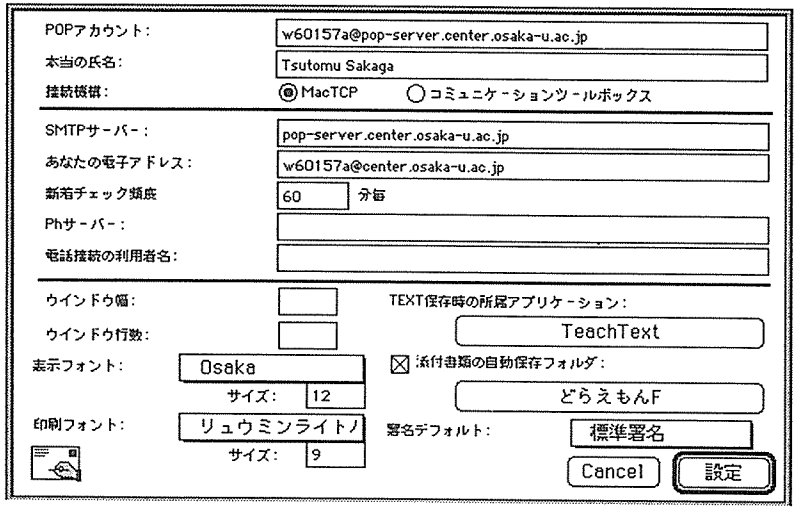
ＰＯＰのアカウントは一人につき１ＩＤ取得してください。

<<一人で Eudora-J を利用する方法>>

別に意識しないでEudoraをそのまま利用します。

6.1.2 Eudora の設定

メニューバーの操作、設定変更...を指定します。



POP アカウント：

（書式：利用者番号（７桁）@pop-server.center.osaka-u.ac.jp）

（書式：利用者番号（７桁）@133.1.4.22）

上記のどちらかの書式（1Byte文字）で指定してください。

本当の氏名：（書式：なし）

できるだけ半角（英字）で記入された方が良いです。メールを受け取る方々は、みんなマックとは限りません。漢字などで記入していますと相手方には、文字化けの状態で表示されているかもしれません。マック同士のみでメール交換するなら漢字で記入しても良いです（ただし、MIMEヘッダ変換をチェックしておいてください）。また、文字化け覚悟で1Byte+2Byteの形式で記述する人もいます。

SMTP サーバー：

（書式：pop-server.center.osaka-u.ac.jp）

（書式：133.1.4.22）

新着チェック頻度：

ユードラがメールを取りに行く間隔（PPP接続の場合は0にします。）

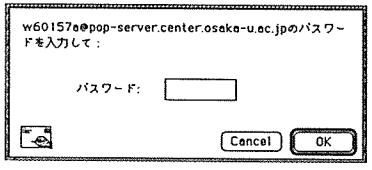
あとは、表示フォント：印刷フォント：を好きな日本語フォントに指定して、［設定］をクリックしてやればOKです。設定変更ダイヤログの図のような感じに設定できればメールサーバに来ているメールをユードラが取りに行くことができるはずです。

> 文中に“－”、“＋”、“｜”、などの文字を利用して図を記述してあるメールを受け取ったら、等幅フォントにしないと正常に見えません。

6.1.3 Eudora の利用

先ほど、作成した電子メールフォルダの電子メール設定からユードラを起動してください。設定変更の新着チェック頻度が０分以外であれば、パスワードを聞いてくるダイヤログが現れます。

新着チェック頻度が０分でも、１回目のメニューバーのファイルから「私書箱をチェック」（⌘＋M）を選ぶとパスワードを聞いてくるダイヤログが現れます。



パスワードのダイヤログの図

新着メッセージのダイヤログの図

パスワードを入力し、［OK］をクリックするとユードラはメールを取りに行きます。

もし、メールが来ていれば受信後に「新しいメッセージが届きました。」とアラートを出して知らせてくれます。

[OK]をクリックすると受信簿が開き、メールを送ってくれた人のリスト一覧が現われます。

メールを送ってくれた人をダブルクリック（またはreturnキーを入力）すると内容が表示されます。

ユードラは、メールサーバーに来ているメールを一定時間（設定変更ダイヤログの新着チェック頻度）ごとに取りに行きます。新着メッセージのダイヤログで[OK]をクリックすると書簡箱の受信簿にメールを自動的に保存します。

返事を送るときは、送ってくれた人のメールを開き、メッセージの返事を選びます。

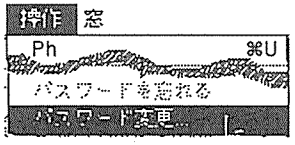
送信先、送信元、サブタイトル等を自動的に書いてくれた送信画面になります。返事の本文を入力し送信をクリックすれば送信されます。本当に簡単です。

ユードラのマニュアルは、Eudora日本語マニュアル作成メンバーの方が作られました、詳しい日本語の説明書です。インストール、各種の設定、使い方などほとんどすべて載っています。詳しく操作したい方はぜひマニュアルを読んでください。

Eudora-QA1.3-Jという ハイパーカードの書類もありますので入手されるとよいですよ。

6.1.4　パスワードの変更について

計算機のパスワードは定期的に変更するのが常識になっております。telnet等を利用する人は容易に変更できるのですが、メールのみの利用等ではパスワードの変更がなおざりになりがちです。Eudoraでは容易にパスワードが変更できるので試してください。



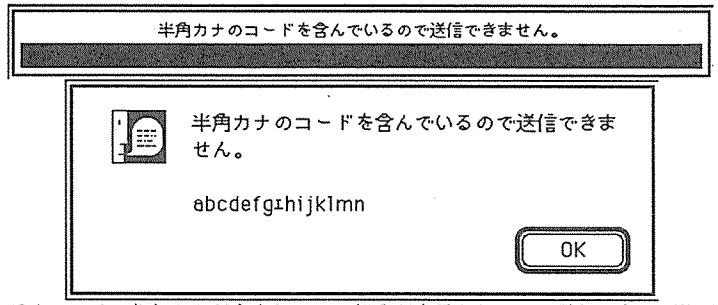
パスワードは6から8文字で、大小の英字と数字で構成してください。

6.1.5　メールでは半角カナコードを送信できません

Eudora-Jは動作が不安定なため、別のアプリケーションで本文を作成することがよくあります。（Eudora-Jでも作成中にこまめに保存をすれば被害が少なくて済みます）

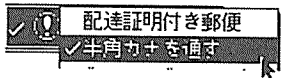
このような場合などで、メールの本文に半角カナが含まれている場合は、Eudora-Jでは送信を許可されません。

（Microsoft Wordで作成する場合はメニューバーの「ツール」の「オートコレクト」の「’ ’ を ‘ ’ に変更する」という項目をOFFにしておきましょう。）



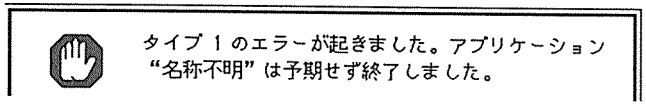
ダイアログに半角カナが含まれている部分が表示されるので数個であれば修正可能ですが、たくさんある場合は KanaKiller INITを利用すれば簡単に修正できます。

これはクリップボードの半角カナ文字を全角カナ文字に変換(command+Shift+R)します。または英文中のマック固有文字を適当な記号に置き換え(command+Shift+T)ます。



Eudora-Jにはこのようなオプションがありますが、利用しないほうが無難です。

6.1.6 強制終了を回避するために



対処としては
・受信簿に多くのメールをためない。
・使用サイズ（メモリの割り当て）を増やしてやる。
・メニューバーの操作、ごみ箱の掃除、および、書簡箱の圧縮をこまめに行う。
・数多くのウインドウを開かない。
・終了のショートカット（⌘+Q）はあまり利用しない。
・送信メールの作成時はこまめに保存（⌘+S）し、被害を言最小限に留めます。

10数MByteメモリを割り当てても起動できない場合。電子メール設定が壊れている可能性があります。

別の場所に新規フォルダを作成し、電子メール設定をそのフォルダに移動します。電子メール設定をダブルクリックし、Eudoraを起動します。Eudoraが起動できれば終了します。電子メール設定を元のフォルダに戻して起動します。

もし、電子メール設定からEudoraが起動できない場合は電子メール設定を再度作り直してください。

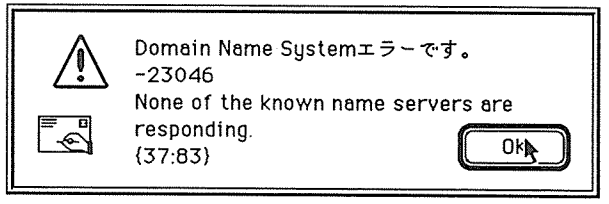
電子メール設定のバックアップを取っていても良いかもしれません。

安定した利用が望みの方は、製品版のEudora-PROを購入してください。

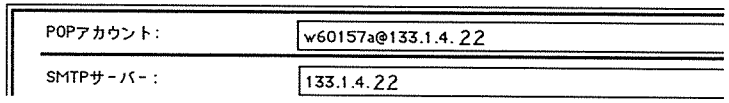
Apple Internetスターターキットにも同梱されています。詳しくは7.1　製品 を購入する をご覧ください。

6.1.7 DNS関係のエラーが出たときの対処

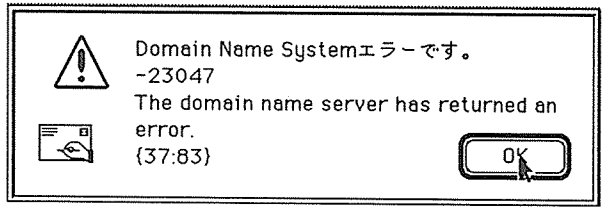
以前は問題なく動いていたのに、突然、以下のようなエラーが出て通信できないということがあります。（疑似的に表示したため実際とは少し異なるかもしれません。）



このような時はメニューバーの操作、設定変更...の中でPOPアカウントとSMTPサーバのpop-server.center.osaka-u.ac.jpを133.1.4.22に変更すると接続できます。



ちなみにPOPアカウント（受信時）、SMTPサーバ（送信時）を間違えると次のメッセージが表示されます。



6.1.8　RMAIL ファイルを Eudora の書簡箱に（障害回避）

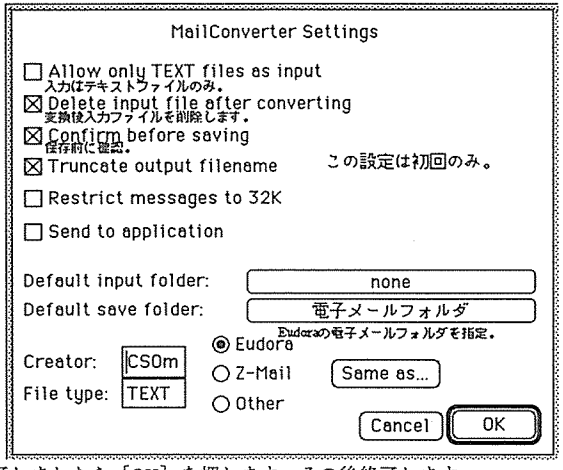
まれですが、以前受信途中でEudora-Jが異常終了してメールの確認ができないという現象報告がありました（どうもメールの中にEudora-Jが受信できないコードが含まれているようです）。

そこで前記の場合とか、何度電話してもPPPの受け口が塞がって（BUSY）いて接続できないが、せめてEudoraでメールが読みたいという場合の方法を説明します。

Mail Converterというアプリケーションを利用します。

まず、Mail Converterの環境設定を行います。

メニューバーのFileからSettings...を選択します。



設定が終了しましたら［OK］を押します。その後終了します。

6.1.8.1　イーサもしくは PPP で接続ができている場合。

（用意するもの）

通信、 NCSA Telnetもしくは areTerm

ファイル転送、 Fetch

漢字コード変換、 Henkanもしくは ふみづかい、 Jeditでも可。

（操作方法）

① ccsparc02にtelnetでloginし、rmailコマンドを入力します。
② [control]+x、[control]+cで通常のプロンプトに戻ります。
③ Fetchで同様にccsparc01にloginし、RMAILファイルをgetします。
④ マック上のRMAILファイルを漢字コード変換アプリケーションに、ドラッグ＆ドロップします。
⑤ 変換後のファイルをMail Converterに、ドラッグ＆ドロップします。
⑥ これらの操作でunix上のメールファイルが、Eudoraの 書簡箱ファイルになります。
⑦ この書簡箱ファイルに適当な名前を付けて自分の電子メールフォルダに入れてEudoraを起動すれば、この名前の書簡箱が作成されています（Mail Converterの環境設定でDefault save folderを指定すればこの操作は不要です）。
⑧ 後は通常のEudoraの操作で利用できます。
⑨ Eudoraで受信メールを確認しましたら、マック上の中間（作業）ファイルと、unix上のRMAILファイルを削除（rm RMAIL）します。

6.1.8.2　シリアル接続（ PPP に接続できない）の場合。

（用意するもの）

通信、 areTerm

（操作方法）

① areTermで06-879-8982に接続して、telnet ccsparc02でloginし、rmailコマンドを入力します。
② [control]+x、[control]+cで通常のプロンプトに戻ります。
③ areTermでRMAILファイルを受信（Kermit）します。
（areTermの設定と受信の詳細は5.1.3 話はそれてシリアルへ を参照）
④ 受信ファイルをMail Converterに、ドラッグ＆ドロップします。
⑤ これらの操作でunix上のメールファイルが、Eudoraの 書簡箱ファイルになります。
⑥ この書簡箱ファイルに適当な名前を付けて自分の電子メールフォルダに入れてEudoraを起動すれば、この名前の書簡箱が作成されています（Mail Converterの環境設定でDefault save folderを指定すればこの操作は不要です）。
⑦ 後は通常のEudoraの操作で利用できます。
⑧ Eudoraで受信メールを確認したら、マック上の中間（作業）ファイルと、unix上のRMAILファイルを削除（rm RMAIL）します。

6.2 電子ニュースの利用

電子ニュースは不特定多数の人々が見ますので、投稿記事は以下の事に気をつけてください。

- 本当に投稿する必要があるのか。
- そのニュースグループに適切であるか。
- 非難中傷や法律に触れていないか。
- 誤解を招いたり、内容に誤りはないか。
- 引用の量は適切か。
- 表題は適切か。
- 他のコンピュータで利用できない外字や記号を使用していないか。

代表的なニュースグループとその内容を簡単に記述します。

comp ： コンピュータ・サイエンス関連
news ： ニュース・ネットワーク、ニュース・ソフトウェア関連
rec ： 趣味・芸術関連
sci ： 科学分野
bionet ： 生物学者向け
gnu ： FSF(Free Software Foundation)とGNU(GNU is Not Unix!)関連
fj ： 日本語の記事が投稿される学術目的のグループ
jp ： 日本のインターネット関連

6.2.1 NewsWatcher-j の設定と利用

NewsWacher-Jのセットアップ

Eudora-Jと同じように圧縮されたファイルをハードディスクにコピーし解凍します。自動解凍ファイルですからダブルクリックするだけで、実行可能形式ファイルができ上がります。

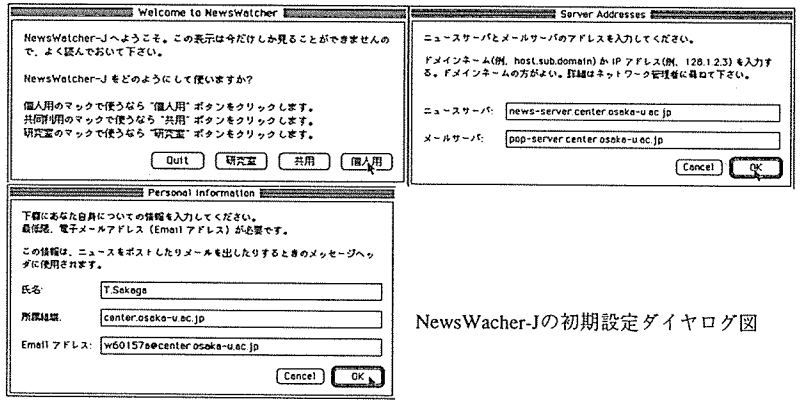
ニュースサーバー

news-server.center.osaka-u.ac.jp [133.1.4.35]

平成８年度にニュースサーバの機器を更新（時期は広報）します。ドメインネーム（news-server.center.osaka-u.ac.jp ）は引き続き利用できますが、IPアドレスは133.1.4.22に変更されますのでご注意ください。

NewsWacher-Jの設定

NewsWacher-Jを起動し、ファイルから初期設定を選びます。初期設定ダイヤログのTopic：からニュースサーバー、メールサーバー、オプション設定等を入力します。



NewsWacher-Jの初期設定ダイヤログ図

これで設定終了です。いったんNewsWacher-Jを終了し、再度起動するとNewsWacher-Jが、サーバーよりニュースを受信します。うまく接続されるとグループリストのウィンドウが現れ、見たいニュースグループをダブルクリックすれば記事の内容が表示されます。

6.3 WWWの利用

6.3.1 Netscape のLicense について

FTPで採取できるNetscapeには色々なバージョンがありますが、b（ベータ）版のバージョンを利用するのは極力さけてください。現在（'96/8）でベータ版以外のバージョンは1.1N、1.12、2.01、2.02、3.0です。これらはLicenseに学生・教職員等が条件（サポートが無い等）付きで無料利用できることが記述されています。また、一般の人でも90日の試用期間があります。

しかし、ベータ版にはこれらの記載がなく試用期間も30日になっておりそれ以後はできなくなります。以下にベータ版以外に記されているLicenseの抜粋を載せておきますが、採取したNetscapeのLicenseには必ず目を通しておいてください。

――http://cgi.netscape.com/ja/cgi-bin/123.cgi#urllist　に記載されているコメント――

個人、法人、政府機関は90日間に限りNetscape Navigatorを無料で試用することができます。学生、教育機関の教職員および職員、慈善非営利団体の従業員に該当される方は、無料でNetscape Navigatorをご使用になれます。なお、無料でNetscape Navigatorをご利用される場合は、弊社の技術サポートをお受けになられることはできません。

詳細については、使用許諾契約書、輸出規制、およびサポート情報をお読みください。

6.3.2 Netscape のメモリについて

Netscapeのメモリ必要条件の奨励サイズは以下のとおりです。

メモリの単価もかなり安くなっていますが、インストールするバージョンはマックの搭載メモリも考慮にいれて選択してください。

また、バージョンの２以降は各種 Plug-inが利用できます。

バージョン	68K（MByte）	PowerPC（MByte）
1.1N , 1.1.2	3	4.3
2.0.2[ja]	4.3	5
3.0	9	9

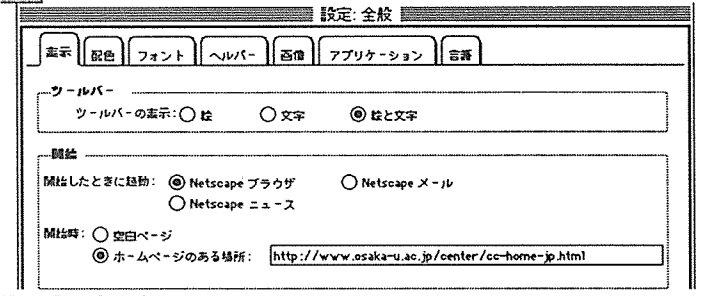
6.3.3 Netscape のインストール

Netscape 2.02[ja] Installerをダブルクリックするだけで、インストールが行われます。

注意：バージョンアップする場合は安全のためにBookmarks.html(システムフォルダ（初期設定（Netscape ト)))ファイルのバックアップは採っておきましょう。

6.3.4 Netscape の設定

HomePage の設定

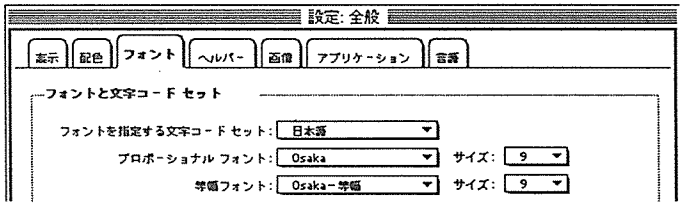


Home Page Location:

トラフィックの軽減と動作確認のため、近くのWWWサーバー名に書き変える。

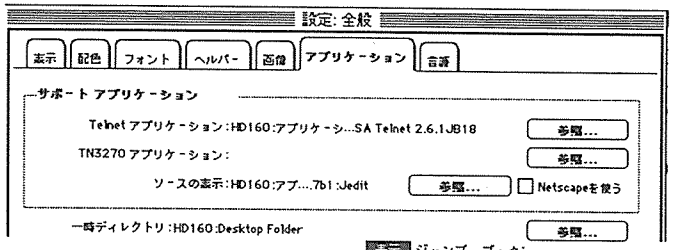
＜例＞　http://WWW.osaka-u.ac.jp/center/cc-home-jp.html

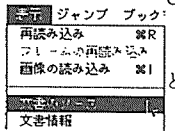
Font の設定



上からJapanese、Osaka、Osaka等幅、JISを選択し、Auto Selectをチェックします。

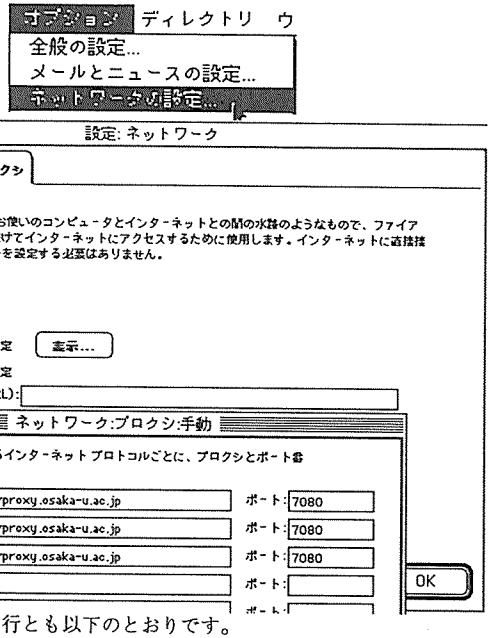
アプリケーションの設定



View Sourceに Jeditを指定すると、 

と、したときに文字化けの無いHTMLが確認できます。

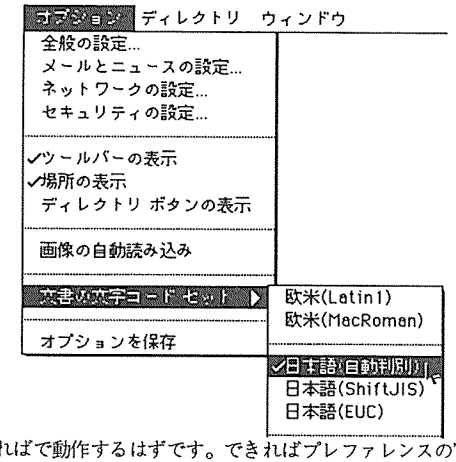
Proxy サーバの設定



FTP,Gopher, HTTPの３行とも以下のとおりです。

wwwproxy.osaka-u.ac.jp Port: 7080

文字コードの指定

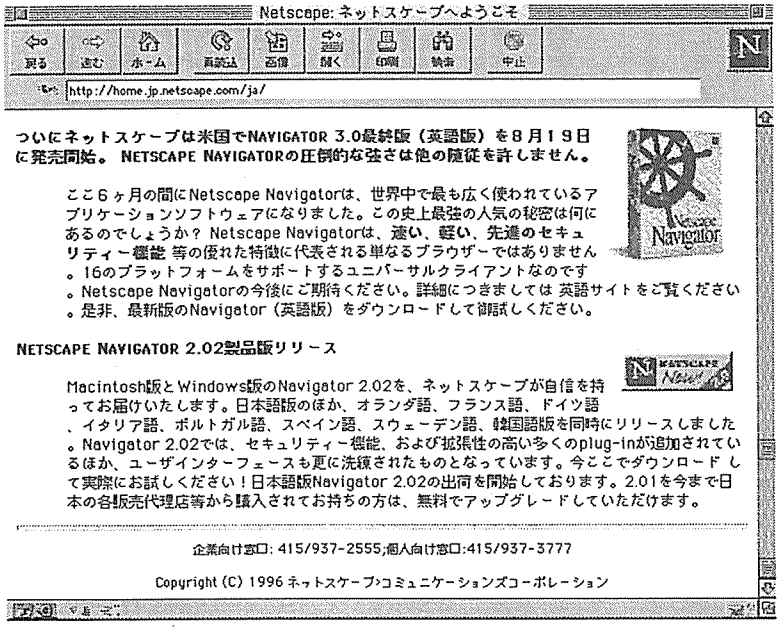


この程度設定すればで動作するはずです。できればプレファレンスの”メイルとニュース”の所も各自に合わせて入力された方が良いでしょう。

6.3.5　Netscape の操作

ネットスケープの日本語ホームページ　http://home.netscape.com/ja/

（マック用に編集しています）



① 画面の上部に四角いボタンがあり、家の絵があるボタンを一度クリックしてください。先ほど設定した大阪大学のWWWサーバーホームページに行くことになります。大阪大学のホームページが現われますか？。

② 青く色の付いている文字を一度クリックするだけで、その文字に関連したページへ行く事が出来ます。それらの文字は、色々なサーバーのページへと渡り歩くボタンのようなものです。ちょうどハイパーカードのような仕掛けになっています。

③ 左向き、右向きの矢印ボタンでいままで見てきた画面にもどったり、進んだりします。家の絵をしたボタンを押すと阪大のホームページに戻れます。

④ インターネット関連の雑誌・書籍などには世界・日本全国のWWWサーバーの特集／紹介などがあります。それらを参考にインターネットサーフィンが楽しめます。

⑤ 操作はファイルメニューのOpen Locationを選びhttp://www.osaka-u.ac.jpと入力するだけでそのサーバーにアクセスできます。下線部が特集などで紹介されているはずです。

6.3.6　Netscape の操作のこつ

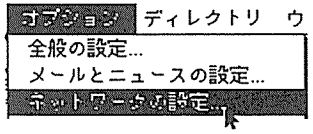
画面のスクロール、Spaceキー：下の画面を見る場合。Deleteキー：上に戻る場合。

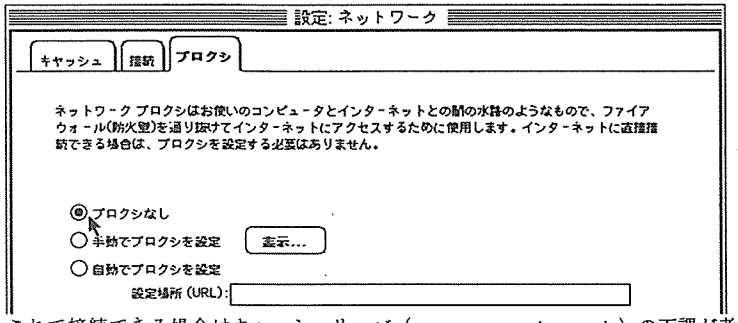
画面表示が遅い場合（PPP等）、目的のページにたどり着くまではメニューバーのOptionsのAuto Load Imagesのチェックマークをはずしておきます。

Real Audio Playerを採取してインストールすることにより、Real Audioをサーポートしているホームページ（たとえばhttp://www.komuro.com）では音声が聞けます。

6.3.7　なぜだか接続できない

他のインターネット関係のアプリケーションは正常に作動するのにNetscapeだけ接続できない場合はNo Proxiesを選択して試してください。





これで接続できる場合はキャッシュサーバ（wwwproxy.osaka-u.ac.jp）の不調が考えられます。No Proxiesにしていても Netscapeは問題なく作動しますが、別の日にNetscapeを利用する場合は必ず指定しておいてください。ここを空白のままにしておくと、個人的には表示速度の低下、インターネット全体ではトラフィックの増加などの問題を起します。

7. 紹介アプリケーションの入手先

7.1 製品を購入する

AppleよりInternetスターターキットというのが5千円程度で販売されています。この中にはMacTCP,TCP/IP,MacPPP,NewsWatcher,Netscape1J,Eudora-PRO,Fetch等が含まれております。単体で購入するより安いです。（Netscape2Jがパッケージされているのは2,3千円程度高くなります。） 今からソフトなどを揃えようという人は良いかもしれません。

これらスターターキット等の製品を購入するメリットは以下のとおりです。

1．メーカーからのサポートが受けられる（かな？）。
2．マニュアルが添付されている。
3．Eudoraは製品版のほうが安定している。
4．複数アプリケーションの設定が容易にできる。
5．公衆回線（電話）でダウンロードする場合、製品を購入するより高額になる場合がある。

7.2 フリーソフトウェアなどの入手方法

anonymouseＦＴＰサーバーからコピーしてくる（Telnetができればftpできます）。

パソコン通信からダウンロードする。NiftyServeのフォーラムFMACPRO,FMACBIZなどのライブラリから。

マック関連雑誌の付録CD-ROMに収録されていることがある。

インターネット関連雑誌の付録CD-ROMにはよく、プロバイダーのStarter Kitが収録されていますこの中にはアプリケーションが一式収録されています。

7.2.1 フリーソフトウェアなど を利用する上での注意

入手したアプリケーションはすべてが自由（無料）で利用できるとは限りません。

シェアウェアは継続して利用する場合は送金する必要があります。

利用した感想などを送るメールウェアや、無断の再配布を禁止しているものや、Netscapeのように教育関係や試用のみで利用できるものなどさまざまです。利用するに当たっては同封されている解説書などに目を通しておいてください。

インターネット上では日々情報が更新されています。

下記の情報が利用できなくなっている場合や、ここに新しいバージョンがありますといった情報がある場合は教えてください。

ここで紹介しているアプリケーションは利用（運用）者の責任において利用してください。これらアプリケーションを利用した結果については、その作者および大阪大学は一切の責任を負いません。

7.2.2 フリーソフトウェアなどの入手先（ anonymouse ＦＴＰ）

AccessPPP(96/5) CyberGateの方が機能が上みたいです。
http://www2.gol.com/users/tomohiko/

Anarchie J(96/8) anonymouseＦＴＰ上の情報検索（シェアウエア$10）

ftp://ftp.hiroshima-u.ac.jp//pub1/mac/info-mac/comm/inet/
ftp://ftp.eos.hokudai.ac.jp//pub/info-mac/_Communication/_Internet/
ftp://ftp.iis.u-tokyo.ac.jp//pub8/info-mac/comm/inet/
ftp://ftp.chem.sci.osaka-u.ac.jp//Mirror/info-mac/comm/inet/
ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/.1/info-mac/comm/tcp/
ftp://ftp.jaist.ac.jp//pub/mac/info-mac/comm/inet/

areTerm(96/5) ＴＣＰ／ＩＰ&シリアル通信ソフト（シェアウエア1,000円）
ftp://ftp.elelab.nsc.co.jp//pub/misc/nutshell/ujip/mac/areterm-211.hqx

Cu-SeeMe(95/9) テレビ電話ソフト
ftp://cu-seeme.cornell.edu /pub/CU-SeeMe
ftp://ftp.race.u-tokyo.ac.jp/pub/cu-seeme-jp/

CyberGate1.3.2(96/5) PPP
http://www2.gol.com/users/tomohiko/

Eudora-J(95/9)：Eudora-J1385.sit.hqx　ＰＯＰメールソフト

ftp://ftp.kuis.kyoto-u.ac.jp//ftpmail/ftp.riken.go.jp/pub/mac/net/eudora/
ftp://ftp.kuis.kyoto-u.ac.jp//ftpmail/ftp.center.osaka-u.ac.jp/eudora/
ftp://ftp.kuis.kyoto-u.ac.jp//Mac/net/TCPIP/
ftp://ftp.eos.hokudai.ac.jp//pub/mac/network/eudora/
ftp://ftp.csce.kyushu-u.ac.jp//pub/mac/mail/
ftp://ftp.tohoku.ac.jp//pub/mac/net/eudora/
ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/Mail/
ftp://ftp.u-tokyo.ac.jp//pub/Mail/eudora/
ftp://ftp.taiiku.tsukuba.ac.jp/pub/eudora/
ftp://ftp.geophys.hokudai.ac.jp/pub/mac/network/eudora
ftp://ftp.pu-toyama.ac.jp/pub/Mac/net/eudora

Eudora-Jマニュアル(95/9)
http://www.dna.affrc.go.jp/htdocs/Eudora/index.html

Eudora-QA1.3-J：Eudora-QA1.3-J.sea.hqx

ftp://ftp.center.osaka-u.ac.jp//eudora/
ftp://ftp.kuis.kyoto-u.ac.jp//ftpmail/ftp.pu-toyama.ac.jp/pub/Mac/net/eudora/
ftp://ftp.u-tokyo.ac.jp//pub/Mail/eudora/
ftp://ftp.tohoku.ac.jp//pub/mac/net/eudora/
ftp://ftp.iis.u-tokyo.ac.jp//pub6/mac/network/eudora/
ftp://ftp.glocom.ac.jp//pub/mac/eudora/
ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/Mail/

Fetch3.0.1：fetch-301.hqx(96/5)　ＦＴＰソフト

ftp://ftp.iis.u-tokyo.ac.jp//pub8/info-mac/comm/inet/
ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/.mnt/info-mac/comm/tcp/
ftp://ftp.jaist.ac.jp//pub/mac/info-mac/comm/inet/

& FreePPP(96/5)　(OpenTptInternet環境ではこちらをご利用ください。)

ftp://ftp.eos.hokudai.ac.jp//pub/umich/util/comm/freeppp1.05.sit.hqx
ftp://ftp.lab.kdd.co.jp//umich/util/comm/freeppp1.05.sit.hqx

Clock Chipping
http://bambam.cchem.berkeley.edu

Jedit1.0.7b2(96/5)　エディタ（漢字コード変換可）

http://www.st.rim.or.jp/~uemoto/matsunoyu
ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/Editors/Jedit68K107b2.sea.hqx
ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/Editors/JeditPPC107b2.sea.hqx

KanaKiller INIT(96/8)　半角カナを全角に変更する

ftp://ftp.lab.kdd.co.jp//mac/Japan/KanaKiller_INIT_1.3.sit.bin
ftp://ftp.lab.kdd.co.jp//Usenet/fj.binaries.mac/KanaKiller_INIT_1.3.sit.bin

Mac Kermit　シリアルファイル転送ソフト（日本語表示不可）センターで配布

MacTCP Exchanger Mac：MacTCP_Exchanger2.0.0.sea.hqx
TCPの設定切り替え(96/2)
ftp://ftp.jaist.ac.jp//pub/mac/NCSA/
ftp://ftp.cs.titech.ac.jp//pub/Mac/tools/NCSA_TelnetJ/
ftp://ftp.tohoku.ac.jp//pub/mac/net/ncsa-telnet/telnetj-dit/
ftp://ftp.leo.chubu.ac.jp//pub2/mirrors/freeware.dit.co.jp/

& MacPPP　(ConfigPPP & PPPのセット）(96/5)

ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/Network/MacPPP2.0.1.J6.4.sit.hqx

MacTCP Switcher　MacTCPの設定切り替え(96/2)

ftp://ftp.iis.u-tokyo.ac.jp//pub8/info-mac/comm/tcp/conn/mactcp-switcher-11.hqx

PPPfloater　PPP接続の表示と切断　(96/3)

ftp://ftp.iis.u-tokyo.ac.jp//pub8/info-mac/comm/tcp/conn/ppp-floater-12.hqx

ftp://ftp.csis.oita-u.ac.jp/.m1/pub/mac/Network/PPPfloater.sit.hqx

Query it!　アドレスからドメインネームもしくはその逆の検索　(96/8)

ftp://ftp.eos.hokudai.ac.jp//pub/info-mac/_Communication/_Internet/

ftp://ftp.hiroshima-u.ac.jp//pub1/mac/info-mac/comm/inet/

ftp://ftp.pu-toyama.ac.jp//pub/.4/ftpmail/common/mac/info-mac/comm/tcp/

ftp://ftp.chem.sci.osaka-u.ac.jp//Mirror/info-mac/comm/inet/

ftp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/.1/info-mac/comm/tcp/

ftp://ftp.meiji.ac.jp//mirror/.1/MAC/info-mac/comm/

ftp://ftp.iis.u-tokyo.ac.jp//pub8/info-mac/comm/inet/

QuickTime2.5 & MoviePlayer 2.5 (96/8)　おまけ

http://www.quicktime.apple.com/software/mac

http://www.support.apple.com/pub/NEWFILES.html

NinjaTerm(95/10)　シリアル通信ソフト（ファイル転送不可）センターで配布

ftp://bash.cc.keio.ac.jp/pub/mac/comm

MailConverter　e-mailファイルをEudoraの書簡箱に変換

ftp://ftp.oita-u.ac.jp/pub/mac/Network/MailConverter_1.4.sit.hqx

NCSA_Telnet_2.7JB11(96/5)　ＴＣＰ／ＩＰ通信ソフト（FTPサーバ可）

ftp://ftp.mei.co.jp//free/mac/comm/telnet/beta/NCSA_Telnet_2.7J11.sea.hqx.gz

NewsWatcher-J16：NewsWatcher-J16.sit.hqx　ニュースリーダー

ftp://ftp.csis.oita-u.ac.jp/pub/mac/Network/

ftp://ftp.nc.nihon-u.ac.jp/pub/.OldStockPlace/Mac/network/

NewsWatcher-J日本語マニュアル

ftp://ftp.taiiku.tsukuba.ac.jp/pub/newswatcher/

ftp://ftp.chem.sci.osaka-u.ac.jp//pub/mac/net/newswatcher-J/

ftp://ftp.u-tokyo.ac.jp//pub/News/NewsWatcher/J-version/

ftp://ftp.eos.hokudai.ac.jp//pub/mac/network/netnews/NewsWatcher/J-version/

ftp://ftp.iis.u-tokyo.ac.jp//pub6/mac/network/netnews/NewsWatcher/J-version/

ftp://ftp.pu-toyama.ac.jp//pub/.4/ftpmail/common/mac/Net/News/NewsWatcher/J-version/

Netscape1.1N：netscape-1.1N.hqx(96/5)　WWWブラウザ

ftp://ftp.ncc.go.jp//pub/mirror/www/netscape/mac/

ftp://ftp.ae.keio.ac.jp//pub/mac/net/WWW/Netscape/

ftp://ftp.tut.ac.jp//.h2/Net/www/netscape/netscape1.1/mac/

ftp://kipcftp.ipc.kanazawa-u.ac.jp//pub/.2/.7/net/WWW/Netscape/

ftp://ftp.gdbnet.ad.jp//ftpsync4/expasy.hcuge.ch/pub/WWW/Netscape/mac/

tp://ftp.uoeh-u.ac.jp//pub/mac/WWW/netscape/OLD/

Netscape-2.0.2ja：Netscape2.02ja Installer.hqx(96/8)

WWWブラウザ日本語版（各国版もあります。）

http://cgi.netscape.com/ja　　（ここで検索可能）

ftp://ftp.ier.hit-u.ac.jp/pub/netscape/navigator/intl/2.02/mac/

ftp://ftp.eos.hokudai.ac.jp/pub/WWW/Netscape/navigator/intl/2.02/mac/

ftp://ftp.glocom.ac.jp/pub/net/netscape/pub/navigator/intl/2.02/mac/

ftp://ftp.kyushu-u.ac.jp/pub/Net/WWW/netscape/navigator/intl/2.02/mac/

ftp://SunSITE.sut.ac.jp/pub/archives/WWW/netscape/navigator/intl/2.02/mac/

ftp://ftp.pu-toyama.ac.jp/pub/Netscape/navigator/intl/2.02/mac//intl/2.02/mac/

Netscape-3.0：Netscape3.0(96/8)　WWWブラウザ

http://cgi.netscape.com/ja　　（ここで検索可能）

上記、Netscape-2.0.2jaのサイト（/navigator/以降は3.0/mac）以外に以下の場所にあります。

ftp://ftp.kyushu-u.ac.jp/pub/Net/WWW/netscape/navigator/3.0/mac

Open Transport J1-1.1 & 7.5.2アップデートディスク

http://www2.apple.co.jp/FTP/ABC-LIST/AtoZ.HTML

MacLife 1996/5　付録のCD-ROM

MacUser 1996/5　付録のCD-ROM

RealAudio Player　Netscapeより音声データを受け取り再生(96,8)

http://www.realaudio.com/

Reset Serial Port　シリアルポートをリセット

ResetMP

ftp://bash.cc.keio.ac.jp/pub/mac/comm/ResetMP.cpt.hqx

SimplePlayer：SimplePlayer.sit.hqx(95/6)　動画再生ソフト

ftp://ftp.germany.eu.net/pub/infosystems/www/ncsa/Web/Mosaic/Mac/Apple/

ftp://ftp.riken.go.jp//pub/net/WWW/Mosaic/Mac/Apple/

ftp://gatekeeper.dec.com/.3/net/infosys/Mac-Mosaic/Apple/

SoundApp：oundapp1.51.cpt.hqx(95/9)　WAVファイルを.aiffにコンバート

ftp://ftp.chem.sci.osaka-u.ac.jp//pub/mac/umich/sound/soundutil/

ftp://ftp.eos.hokudai.ac.jp//pub/umich/sound/soundutil/

スピードメーター(95/4)　ベンチマークソフト（おまけ）

URL:http://bambam.cchem.berkeley.edu/~schrier/mhz.html

QuickTime For Windows　（おまけ）(96/8)

http://www2.apple.co.jp/FTP/ABC-LIST/AtoZ.HTML

8. おわりに

元々、「マッキントッシュを接続する」という資料がありました。これにはインターネットに接続して各種アプリケーション（Mac/TCP,Eudora-J,NewsWatcher-J,Netscape)を利用する方法が解説されています。講習会のためにこれの補足資料を別に作成したのですが、各箇所で重複、分散していて見づらいものでした。今回の資料は、奥村氏の了解を得てこれらをまとめて再編集したものです。

表題はお気楽マックなのですが、結構なボリュームになってしまいました。「どこが、お気楽なのか？」という声が聞こえてきそうですが、解りやすくするために図を多用したためにこのようになってしまいました。余計に解りにくくなっている、ここの解説が少ない、参考になった等など、ご意見、ご要望、感想などを、下記のメールアドレスまで送っていただきますと幸いです。

E-mail:w60157a@center.osaka-u.ac.jp

また、このマニュアルはオンラインマニュアルとして以下のアドレスから辿ることができます。記載内容の変更確認などを行えます。

http:www.center.osaka-u.ac.jp/center

9. 参考文献

奥村　弥　著　「マッキントッシュを接続する」、大阪大学生活協同組合

村田　嘉弘　著　「NUNET利用の手引き-Windouws編-」、長崎大学総合情報処理センター

田口　善弘　著　「Interactive Science Column」、月刊MacUser

月刊 INTERNET magazine

月刊 Internet user

月刊 MacLife

月刊 MacUser